

会 報

第169号
(2006年10月)



関西ハーモニカ連盟

KANSAI Harmonica Association

関西ハーモニカ連盟

会報 第169号(2006年10月号)

発行部数 350 毎年4, 7, 10, 1月に発行(送付はそれぞれ前月中下旬)

関西ハーモニカ連盟 組織 2006年7月18日現在

理事長 仲村 眞 〒545-0005 大阪市阿倍野区三明町2-6-10
☎06 6624-5606 FAXも同じ

副理事長兼事務局長

田中 祥雄 〒610-1127 京都市西京区大原野上里鳥見町14-20
☎075 331-1033 FAXも同じ

副理事長兼編集局長

吉村 則次 〒591-8008 堺市北区東浅香山町3-104-5-201
☎072-251-9398 FAXも同じ

事業部長 梁木 進 〒599-8116 堺市東区野尻町192-20

☎072-286-4889 FAX 072-286-4890

研修部長 寺村 安雄 〒590-0133 堺市南区庭代台1-37-20

☎072-297-5737 FAXも同じ

組織部長 岡谷 秀喜 〒584-0072 富田林市高辺台3-4-61-204

☎0721-28-5071 FAXも同じ

会計部長 後藤 貞男 〒596-0005 岸和田市春木旭町36-17

☎0724 41-0552 FAXも同じ

部長・局長を除く常任理事及びその担当(五十音順)

姉川敏彦(事業)、入江章次(編集)、梅田恒弘(事務)、岡村貞彦(事業)

金川 一(事業)、金丸寿夫(事業)、楠 陽児(事業)、笹山恵司(会計)、田代敏胤(事業)

西本豪介(研修)、吹上晴彦(研修)、保理江元子(事業) 12名

理事(五十音順)

青木 聡、新井尚子、稲垣裕子、井上純一、今井倫子、今井康郎、上垣博子、川畑壽一、
神戸栄一郎、木谷悦子、久保田 隆、小林由美子、斎藤正勝、坂田利雄、坂本吉丸、
酒巻勇二郎、園 真佳、高阪他美子、高瀬豊一、田口幸輝、谷口昌子、辻田鑛三、辻部暁子、
出村佳津男、戸田秀徳、中西康四郎、新山ミツ子、林 一義、早川直也、原田忠雄、藤本 勇、
松川義明、光野利一郎、宮本一男、村田 潤、もり・けん、山本健司、山森ふさ子、吉見 治、
吉見 忠、和谷篤樹 41人

会計監査 村上博昭

常任顧問 酒井涼雨、板村忠重、新井善久、大石喜一郎、白鳥達夫、飛田保雄

顧問 織田太郎、筒井松太郎、西田幸司、畑 婦美子、村上浩一、山村信彦、渡辺 昇

特別顧問 森本恵夫、齋藤壽孝、徳永延生、和谷泰扶

入会のご案内 組織部長

入会費1000円、年会費(1-12月) 個人会員5000円、地域外個人会員5000円、

賛助会員(業者)10000円

ハーモニカが好きなたなら、吹くかた吹かないかた、上手なかた下手なかた、上手に
なりたいかた、ニュースだけほしいかた等、どなたでも入会できます。関西地区以外のか
たは「地域外個人会員」となります。入会金と年会費をお近くの郵便局から次の指定振
替口座に振り込みください。振込払込票の通信欄に「入会申込」と記入してください。

郵便振替口座 00950-6-115527 加入者名 関西ハーモニカ連盟

会員名簿(氏名、住所、電話番号)は原則として公表いたしますが、本人からの申し出に
より住所と電話番号は公開しないことができます。

9月までに途中入会の方には、当年度(4月号以降)のバックナンバーをお送りします。
10月以降入会のかたは、特に申し出がない場合は、翌年度入会の取り扱いとなります。

本誌では、特別顧問を除く会員の敬称を省略しております。ご了承ください。

関西ハーモニカ連盟 会報 2006/10月号 目次

表紙 ジュニア・アンサンブル アジア太平洋大会にて

裏表紙 「こぐまくんのハーモニカ」より

第17回関西ハーモニカ祭り(10/15)さやかホールご案内	編集局
連盟主催チャリティ・ハーモニカ・コンサート(2007/3/4)のご案内	事業部 3
第17回関西ハーモニカ祭り(10/15)さやかホールご案内	事業部 4
早春ハーモニカ・チャリティコンサート開催に当たって	事業部 5
10月以降の研修会のお知らせ	事業部 6
南大阪ハーモニカ祭り11/5堺市総合福祉会館ご案内	研修部 7
ハーモニカ・カレンダー(行事の実績と今後の予定)	MiOHAS 8
第11回浜松1泊2日ハーモニカセミナーご案内	編集局 9~11
第6回西日本ハーモニカコンテスト(7/30)を終えて	古橋Hサークル12
同 入賞者一覧表	実行委員長 13
優勝者の写真	実行委員長 14
優勝者の言葉、岡 直弥、北村サユリ、妹尾裕子、ハーモニー、	編集局 15
スウィング・ダックス	編集局 16
F I H ジャパン主催ハーモニカコンテスト(5/28東京)入賞者一覧	編集局 20
PAの実際(7/9研修会)の報告	吉村 則次 21
第7回Hフレンドコンサート 11/12 宇治市 宇治日和	都日クラブ 23
Hでクラシック、中谷晃 第6回やよいミュージアムコンサート	中谷 晃 24
写真ニュース=西日本コンテスト、各地のコンサート、研修会等=	編集局 25
アジア太平洋大会(2006/8/3~6台湾)の写真	吉村 則次 29
アジア太平洋大会のコンテスト出場者国別分布	吉村 則次 32
日本は老人天国か、アジア太平洋大会に参加して	吉村 則次 33
風薫る梢過ぎゆく楽の音、ハーモニカサロンとHコンサートを終えて	大石喜一郎 39
理事原田忠雄が堺市功績者表彰(民生功績)を受賞	編集局 40
平成18年前半の活動報告	大石喜一郎 41
大東アンサンブル改組しました。「法円坂アンサンブル」もよろしく	吉村 則次 42
ハーモニカが上達する為の大切なこと(26)	池田 輝樹 43
新しいハーモニカCD、ハーモニカ向きカラオケCD	吉村 則次 47
ハーモニカ二重奏の演奏見本及びカラオケのMD及び楽譜販売	吉村 則次 48
買って置いてよかったポール・モーリアカラオケ	吉村 則次 48
高槻ジャズフェスティバルに参加	井上 純一 49
宇佐美進編ソロとアンサンブル「思い出の歌謡曲集~昭和編II」発売	編集局 50
法円坂アンサンブル、全く初めてのかたのための教室、生徒募集	吉村 則次 51
インスブルック国際音楽祭参加はいかが	吉村 則次 52
7/9研修会(PAの実際、講師 吉村則次)の報告	研修部長 52
第6回アジア太平洋H大会コンテスト課題曲(複音)	編集局 53
病気に勝てなかったハーモニカコンテスト、四方ハモ話(7)	光野利一郎 56
日本ハーモニカ芸術協会からのお知らせ	編集局 57
会員異動のお知らせ	組織部長 58
岡 直弥氏、よみうりテレビに出演	編集局 58
誌面の都合により、ハーモニカをHと表示している場合があります。	

次号(2007/1月号)の原稿締め切りは11/10(金)、発行は12/4(月)

ハーモニカコンサート

入場無料 飛び入り歓迎

2006年10月15日 日曜日

午前10時開演予定

さやかホール

(大阪狭山市文化会館)

大阪狭山市狭山1丁目875-1

南海高野線(難波、JR新今宮等から)大阪狭山市駅より徒歩3分

電話 072-365-8700

大小2ホールを使用し同時に進行します

本年7月30日に開催しました西日本
ハーモニカコンテストの優勝者、
著名ゲストをはじめ、約100組の
演奏があります。

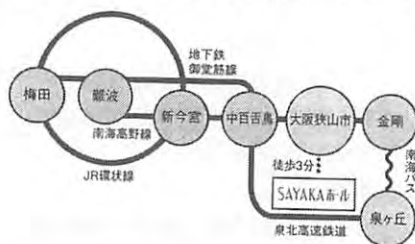
主催 関西ハーモニカ連盟

問い合わせ 梁木 進 072-286-4889

当日飛び入り演奏(有料、¥2500円)ができます

小ホールにご来場の上お申し込みください。

プログラムは、当日会場でお渡します。



ハーモニカ・チャリティ・コンサート



日 時 2007年3月4日 日曜日

場 所 サンスクエア堺 B棟ホール
堺市 JR阪和線 堺市駅 下車すぐ 400席

主 催 関西ハーモニカ連盟

入場料 有 料 金額は未定
収益は全額チャリティに回します。

演奏者 未定

別ページの通知及び同封のアンケート用紙をご参照ください。

演奏者は、アンケートにより、みなさまの希望をお伺いし決定いたします。

10月15日に開催の大阪狭山市さやかホールでの関西ハーモニカ祭り会場でも、
来場者にアンケートを配布します。

演奏者名、開演時刻、入場料、入場券申し込み方法、等の詳細は、委員会で決定し、
1月号会報にてお知らせする予定です。

関西ハーモニカ祭りのご案内

事業部部长 :

梁木 進

10月15日にいよいよ関西ハーモニカ祭りが行われます。本年度は水と緑豊かな都大阪狭山市文化会館 SAYAKA ホールで行われます。お友達をお誘いの上ご来場ください。

事業部は西日本ハーモニカコンテストに続きハーモニカ祭りをも担当することになりました。皆さんに聴いて楽しい、見て楽しいコンサートにするべくいろいろと工夫をしました。今までと違ったハーモニカ祭りをお楽しみ下さい。

神戸、京都、奈良、滋賀県等遠方よりご来場の皆さんには長すぎる演奏会は苦痛にもなりかねないので本年度は遅くとも午後5時には終了すべく時間の短縮に努めました。その為に出演者の中から不満の方がおられるかもしれませんがこの点ご理解とご協力の方よろしくおねがいします。ご来場の皆さんも途中で帰らずに最後のハイライトまでお楽しみ下さい。

メインホールのアンサンブル部門では従来2曲演奏のところ1曲になりました、小ホールでは飛び入りが主体として事前の申し込みがなくても当日、飛び入りでご出演出来るようになりました。メインホールに出演している方でも飛び入り参加が出来ます。

10時30分開演、5時に終演をさせるといっても大変長時間の演奏会になりますので適時休憩をとりながら最後までお楽しみ下さい。館内は多くの休憩場所と広いレストランがありますので演奏を楽しみながら楽しい一日をお過ごし下さい。小ホールではプログラムがありません、そして事前の予約も出来ません。小ホールではゲスト演奏、公開レッスン及び飛び入りを主体として行います。当日に飛び入りで参加したい人は小ホールの前でお申し込み下さい。一人1曲まで

演奏会に先立ちまして皆さんに下記の注意がございます。

1. 物を置いて席取りを絶対にしないように願います。10分以上席を立たれる場合は荷物をも撤去願います。
2. 当日はなるべく練習やリハーサルをしないで演奏会場で演奏を楽しんでください。この点特に指導者の先生方をお願い申し上げます。
3. アンケートには必ずお答え願います。来年3月4日の有料ハーモニカコンサートの出演者の推薦をもお願いします。
4. 譜面立ては各ホール10個用意しています。小アンサンブル、ソロの方はご使用下さい。

狭山文化会館へのアクセスはいろいろのルートがありますので下記ご参考下さい。下記は電車の正味の乗車時間です、乗り換えや待ち時間を考えてご出発下さい。

京都—新大阪—動物園前—天下茶屋—大阪狭山市	55分
奈良—新今宮—大阪狭山市	53分
奈良—柏原—道明寺—古市—河内長野—大阪狭山市	60分
神戸—新大阪—動物園前—天下茶屋—大阪狭山市	52分

平成19年度 早春ハーモニカ・チャリティーコンサート開催に当たって

関西ハーモニカ連盟事業部

この度関西ハーモニカ連盟の主催で、来年（平成19年）3月4日（日）に堺市サンスクエアに於いてハーモニカ・チャリティーコンサートを催す計画が進んでおります。ハーモニカを通じた社会貢献の一助として入場料を有料としてささやかながらもそれに見合うような演奏者を配して、出来るだけ多くの収益金を作り、国際援助、あるいは福祉団体に寄贈する目的で行います。

世間一般の方にハーモニカ世界を認識（注目）して頂くと共に、マスコミにもハーモニカの存在意義を訴え、理解を得るほか、一般のハーモニカ愛好者にも刺激を与える効果が有れば、コンサートの開催意義は大きいものと確信します。

そこで出演者は皆様の推薦を参考にさせて頂き、当連盟の運営委員会で決定をさせていただきます。出演の対象者としては、原則として、関西在住の方で優れた演奏者であって、このコンサートの目的を理解して下さる方をボランティア出演をお願いするつもりであります。

委員会の最終決定では、過去の日本内外のコンテストの上位入賞者や、今年度のアジア大会、今年度の第6回西日本コンテストの上位入賞者、或いは関西において指導的な立場の方々等には演奏をお願いする事になるでしょう。しかしながら投票はこれらのタイトルや立場の有無に拘わらず、下記の要領で、当連盟までご連絡頂ければ幸いです。

当然の事ながら、コンサートの収益金の寄贈先と収支会計報告は、当連盟の会報に掲載することをお約束いたします。

記

ハーモニカ・チャリティー・コンサート（予定）

時；2007年3月4日 日曜日（時間は未定）

場所；サンスクエア堺 B棟ホール

堺市 JR堺市駅下車すぐ 400席

主催； 関西ハーモニカ連盟

入場料は有料（金額は未定）収益は全額チャリティーに回します

演奏者：未定

演奏者の決定の参考のため、投票をお願いします。投票は一人につき2名（又は団体）まで推薦して下さい。投票者ご自身の名前の無いもの（又は偽名と分かれば）無効です。投票期限は今年狭山で行われる第17回関西ハーモニカ祭り当日の10月15日です。当日を待たずに投票しても当日の演奏を聞いてから推薦しても構いません。ハーモニカ祭り当日にも投票用紙を用意致します。投票用紙が無い場合はコピーをして下さい。又はメールで下記へお知らせ頂いても構いません。

599-8116

大阪府堺市東区野尻町 192-20

梁木 進

TEL 072-286-4889 fax 072-286-4890

メール s.hariki@glayva.net

10月以降の研修会開催のお知らせ 研修部

◎複音ハーモニカの修理と調律

上記の研修会を、下記の要領で開催しますので、ご希望の方はご予約をお願いします。

- 1、日 時 2006/10/1 日曜日 13:30~16:30 受付開始 13:00
- 2、テーマ 複音ハーモニカの調律
- 3、講師 **山口 牧氏**（株）鈴木楽器販売
演奏者と技術者の両面をもっている。学生時代に独学でハーモニカ、ギターを始める。10年間（株）鈴木楽器でハーモニカの調律・組み立ての業務を経験して2005年より教本の編集や、演奏や修理の講師等務め、ハーモニカの普及に努められた。
- 4、場 所 愛日会館 3階（あいじつかいかん）地図の◎印のところです。
大阪市中央区本町4-7-11
地下鉄本町駅から徒歩5分
TEL 06-6264-4100
FAX 06-6264-4101
- 5、費 用 運営費、場所代及び資料印刷代として1人1000円 当日支払ください。
- 6、人 数 申し込み順60名（予約必要です）
- 7、申し込み先 高阪他美子
FAX 078-743-0865
- 8、問い合わせ先 研修部長 寺村安雄
FAX 072-297-5737
- 9、講習の内容
複音ハーモニカの調律の実習を行いますので、調律用具と修理を必要とするハーモニカがあればそのハーモニカを持参のこと。調律用具を持っておられない方は、簡単な調律用具（3,500円）を販売します。
調律用具の購入希望者は参加予約時にその旨申請して下さい。



研修会は会員以外のかたも参加できます。生徒さん等お誘い合わせの上お出てください。

編 集 局 長

関西ハーモニカ祭りのプログラム

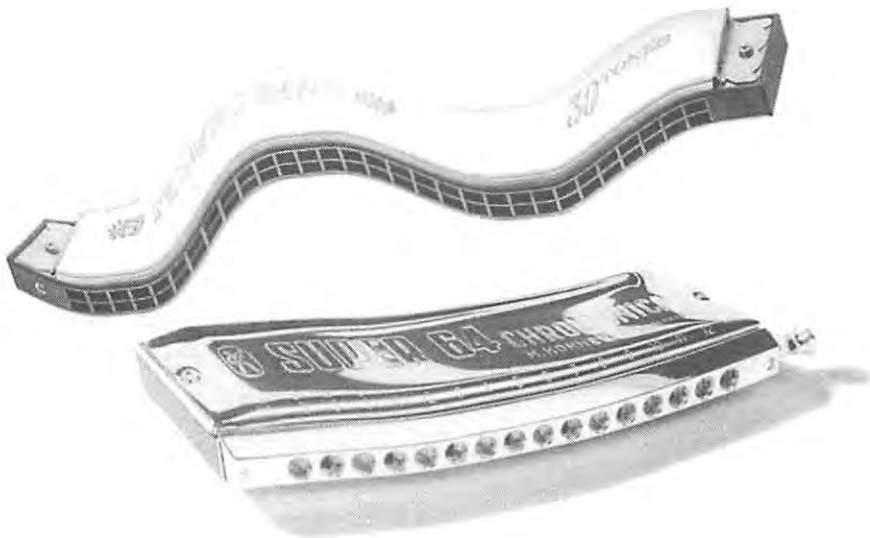
は、この会報に同封していません。

プログラムは、従来10月号の会報に同封しており、会報の年間発行計画（4月号に掲載）にも、プログラムを10月号会報に同封する予定で載せておりましたが、今回はプログラム完成の時期の都合により、本誌に同封できないことになりました。

詳細はp3、p5をご覧ください。

10/15当日会場の受付にてお受取ください。

なお、演奏申込をされたかたには、プログラムを事業部から事前に個別に送付されると聞いております。



ゲストの演奏も予定しております。

別ページに記載の西日本コンテスト1位、F I Hコンテスト3位の
岡直弥君も出ます。

第8回南大阪ハーモニカ祭りご案内

MiOHAS (南大阪ハーモニカ・ソサイアティ)

飛び入りも歓迎 (有料)

入場無料

日 時 11/5 日曜日 10:00または11:00am開始
なお、開始時刻は、プログラムでお知らせします。

場 所 いつもの堺市総合福祉会館 6階ホール (442席)
堺市南瓦町2番1号 南海高野線堺東下車 徒歩10分 電話072-222-7500

主 催 MiOHAS (南大阪ハーモニカ・ソサイアティ) 代表者 吉村則次
問い合わせ 梁木 進 FAX 072-286-4890
吉村則次 FAX 072-251-9398

申し込みは9/5に締め切りでしたが、飛び入り (有料) ができます。

演奏負担金 ソロ 5分 1曲 2500円
アンサンブル 6分 構成員1人あたり500円

障害者及び高校生以下のかたは負担金を免除します。

==ハーモニカカレンダー==

2006-8-18現在

スペースをセーブするため、ハーモニカをHと表示している場合があります。

演奏者、演奏会の名称、会場、問い合わせ先の順に掲載 敬称は、省略しております。

編 集 局

- 5/23 火 堺女性大学クロマチックハーモニカコース 新年度開講 12名
- 5/25 木 徳永延生 ホテル・モントレ大阪 ミニコンサート&ディナー
- 5/27 土 梁木 進 デモ 心斎橋そごう12F 滝の広場及び三木楽器店頭 写真p26
- 5/28 日 F I Hコンテスト決勝大会 東京お茶の水 電通ホール 入賞者p20
- 5/28 日 都クロマチッククラブ
- 5/28 日 寺村安雄と泉ハーモニクス 大阪府立「花の文化園」野外ステージ
- 5/28及び6/4 日 岡直弥 よみうりTV Ch.10「スタびか」に出演写真p21
- 5/29 月 KHFハーモニカサロン&楽しいHコンサート 茨木市WAMホール
- 6/4 日 寺村安雄と泉ハーモニクス 日韓障害者親善交流コンサート
堺市 泉ヶ丘駅前 ビッグアイ大ホール
- 6/4 日 吉村則次 京田辺市北部住民センター
- 6/10 土 山口弘ほか 大東市諸福老人福祉センター
- 6/10 土 木谷悦子ほか 大東市生涯学習センター「アクロス」
- 6/17 土 クリスタルハーモニー(田中祥雄ほか3人)尼崎市身体障害者福祉センター
- 6/18 日 3回各30分 吉村則次及び岡直弥 ホーナー・クロマチック・デモ
心斎橋そごう12F 滝の広場及び三木楽器店頭 写真p28
- 6/19 月 コンテスト委員会
- 6/29 木 びわ湖ホール コンテスト 会場と打ち合わせ
- 7/2 日 日本H芸術協会関西支部連合会定期演奏会 茨木市ユアアイホール
- 7/5 水 もり・けんほか 3人のトーク&演奏「七夕コンサート」太閤園
- 7/9 日 アジア太平洋H大会(台湾)参加者演奏会兼懇親会 北京料理徐園
- 7/9 日 「好きです!ハーモニカ」コンサート 三木楽器そごう店
そごう心斎橋本店12F 滝の広場
- 7/10 月 徳永延生 ミスター・ケリーズ
- 7/10 月 コンテスト委員会
- 7/23 日 ソフィア堺 めぐみ会ピアノ発表会ゲスト演奏 合奏4曲ソロ3曲 30分
- 7/29 土 大石昌美 NHK-BS2 昭和の歌人たち第1回古関裕而 写真p27
- 7/30 日 第6回西日本ハーモニカコンテスト びわ湖ホール小ホール
記事、入賞者一覧、優勝者の言葉等 p13
- 8/3~6 第6回アジア太平洋ハーモニカ大会 台北にて 関西からも34名が参加、
写真p29 記事p32~38
- 8/6 日 徳永延生 ライブスポットアロー
- 8/12 土 和谷泰扶セミナー J E U G I A三条本店6階ホール
- 8/12 土 徳永延生 香里園 シー・プレス
- 8/12 土 寺村安雄 第11回夏の音楽会 高槻市立生涯学習センター

- 8/13 日 岡 直弥 よみうりテレビ「スクビか」に3回目出演
- 8/16 水 吉村則次ほか 京田辺市 洛和会
- 8/20 日 大石昌美 NHKハイビジョン 昭和の歌人たち第1回古閑裕而
- 8/25~27 金~日 和谷泰扶 大津セミナー コンサートは26日土曜日
- 8/28 月 寺村安雄と泉ハーモニックス 特養老人ホーム「カロス」
- 9/2 土 和谷泰扶セミナー 三木ミュージックサロン梅田
- 9/4 月 スズキハーモニカ振興会第6回全国ハーモニカ研修会
講師 井上初美、楠光恵、大内友哉 大阪市立青少年文化創造ステーションKOKO PLAZA
- 9/9 土 寺村安雄 第7回永田峰亭書作展と第35回白峰会記念展
ゲスト出演 ホテル第一堺
- 9/10 日 吉村則次ほか 京田辺市「チェンバロ」にて
- 9/11 月 矢次保子 ジャズ・ファンタジー マイク・デル・フェロートリオ
福岡市 ニューコンボ
- 9/14 木 山森ふさ子ライブ 草津近鉄デパート5階レストラン「モクモク風の葡萄」
- 9/15 金 寺村安雄 視覚障害者のための教養講座（講義と演奏）
貝塚市立中央公民館
- 9/18 月 寺村安雄 堺市東福祉センター（南風会）出演
東福祉センタークラブ発表会
- 9/18 月 寺村安雄 堺市南福祉センター出演 堺市南福祉センタークラブ発表会
- 9/19 火 吉村ほか数名 京田辺市市民ふれあいロビーコンサート 市役所ロビー
- 9/23 土祭 徳永教室発表会 鶴見区 万博公園内 陳列館ホール
- 9/24 日 寺村安雄 第25回大阪市城東地区総会（宗教団体）ゲスト出演
- 9/29 金 和泉フィルハーモニカ 和泉市総合福祉会館まつり
- 10/1 日 1pm 連盟主催研修会 複音ハーモニカの修理調律
講師 山口 牧 氏（鈴木楽器販売(株)） 愛日会館 案内p7
- 10/1 日 2pm 中谷晃 府立弥生博物館やよいミュージアムコンサート
ハーモニカでクラシック p24
- 10/1 日 12:30 滋賀ハーモニカ笑好吹(エコーズ)(スウィング・ダックス&
ブルーレイク・サウンズコンサート)
- 10/7 土 寺村安雄 2006年元気フェスタin堺 堺市総合福祉会館 ゲスト出演
- 10/14~15 土日 第11回浜松1泊2日ハーモニカセミナー p12
浜名湖湖畔 館山寺サゴロイヤルホテル
メトロノームを使ったリズムトレーニング、ビブラート・サブトーン奏法
主催 古橋ハーモニカサークル 講師 徳永延生 全部参加すべて込み25000円
部分参加、日帰り参加OK 問、053-475-2308五十川 06-6934-7266徳永 締め切り9/末
- 10/15 日 当連盟ハーモニカ祭り 大阪狭山市 さやかホール p3&5
- 10/15 日 中谷晃と和泉フィルハーモニカ 和泉市健康まつり
- 10/22 日 有志数グループ 京田辺音楽祭 同志社女子大学ホール
- 10/29 日 関西ハーモニカポップス定期演奏会 吹田市メイシアター中ホール
- 10/29 日 中谷晃と和泉フィルハーモニカ 和泉市市民文化祭

- 11/5 日 南大阪ハーモニカ祭り 堺市総合福祉会館ホール p8
- 11/9 木 18:30と19:30 山森ふさ子ライブ 草津近鉄デパート5階レストラン
「モクモク風の葡萄」お食事代2100円
- 11/10 金 会報2007/1月号原稿締め切り
- 11/12 日 Hフレンドコンサート 宇治日和 都クロマチックHクラブ主催
問、0774-22-5160 川本 案内 p23
- 11/12 日 堺女性大学クロマチックコース 堺市芸能百華出演
- 11/12 日 寺村安雄とローズ・ヒップハーモニカクラブ
東大阪市東大阪体育館 クラブ発表会
- 11/18 土 寺村安雄と泉ハーモニックス 和泉市アイアイロビークラブ発表会
- 11/23 木 寺村安雄 第70回堀部隆次アコーディオン発表会ゲスト出演
新大阪 オースクホテル
- 11/26 日 中谷晃と和泉フィルハーモニカ 和泉市民文化祭、弥生の風ホール
- 12/3 日 寺村安雄合同ハーモニカクラブクリスマスコンサート
堺市泉ヶ丘駅前「泉ヶ丘センタービル」大集会室
- 12/4 月 会報2007/1月号 発行 総会招集通知
- 12/8 金 中谷晃と和泉フィルハーモニカ 和泉市福祉協議会文化祭
弥生の風ホール
- 12/16 土 寺村安雄 東大阪ライオンズクラブ ファミリークリスマスパーティ
大阪上六都ホテル ゲスト出演
- 2007/3/4 日 連盟主催チャリティ・コンサート 堺市 サンスクエア 記事p4&6
- 2007/5/17~20 国際音楽祭 インズブルック p52
アコーディオンとハーモニカの国際コンテストやコンサート 問 072-251-9398 吉村
- 2007/6/10 日 日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会主催コンサート
和歌山市民会館

スペースの関係でハーモニカをHと表示している場合があります。

入場料が記載されていないものは、原則として入場無料です。

問い合わせ先 中谷晃関連=0725-56-2907 寺村安雄関連=072-297-5737

その他 吉村則次=072-251-9398

また氏名のみを記載して、問い合わせ番号が記入していないものは、会報7月号に会員名簿が掲載されておりますので、それをご覧ください。

ハーモニカカレンダーは、

ハーモニカの普及発展のため、ハーモニカの行事を広くお知らせするものです。

当連盟の会員の活動のみでなく、会員以外のかたの活動をも広くお知らせするページです。

また、これから行われるというもののみではなく、過去3カ月以内の活動も、有料のものも無料のものも、だれでも参加できるものも特定のものしか聞けないものも、ハーモニカに関連する行事ならなんでも掲載します。関西地域以外の行事でも（例えば国際的な大会や当連盟会員の関西地域以外での活動）当連盟会員に参考になるものを掲載します。どんどんニュースをお寄せください。 **編集局長** 吉村 則次 電話及びFAX 072-251-9398

第11回 浜松1泊2日 ハーモニカセミナー

主催：古橋ハーモニカサークル

とき 2006年10月14日(土)・15日(日)

ところ 館山寺サゴロイヤルホテル

講師 徳永延生

セミナーのテーマ

- ① メトロノームを使った基礎リズムトレーニング
- ② ビブラート・サブトーン奏法

13:00	現地集合	9:00～	セミナー
13:30～	セミナー	12:00～	昼食(フリー演奏)
17:00～	自由時間	14:00～	徳永コンサート
18:00～	夕食(フリー演奏)	15:00	現地解散

A	1泊2日(すべて参加)	¥25000
B	1日目だけ参加(セミナー受講のみ・夕食代含まず)	¥12000
C	2日目だけ参加(昼食代含む)	¥13000
D	2日間とも日帰り(1日目の夕食代含まず・2日目の昼食代含む)	¥17000

お申し込み・お問い合わせ	古橋ハーモニカサークル(五十川誠子さん) 053-475-2308 徳永ハーモニカ教室 06-6934-7266 E-mail tokunaga@h.zaq.jp
お申し込み方法	TEL・FAX・E-mailいずれかにてお申し込みください。
お申し込み締切日	9月末日
定員	65名 先着順受付となります。

- ★1日目夕食後の宴会及び2日目昼食後にはフリーエントリー制でハーモニカ演奏ができます。
- ★浜名湖に沈む美しく壮大な夕日を見ながら屋上露天風呂での温泉入浴。
- ★煩雑な日常を忘れて、半年に1度の仲間との再会・交流。

なお、お申し込みのキャンセルについては1週間前までは全額返金されますが、それ以降になりますと返金することが出来ませんのでご了承ください。

第6回西日本ハーモニカ・コンテストを終えて

実行委員長（関西ハーモニカ連盟理事長） 仲村 真

西日本ハーモニカコンテストは、当連盟が中心になって1996年から開始し、今回が第6回目を開催することが出来ました。これも皆様ハーモニカ愛好者のご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

西日本ハーモニカ・コンテストは、ハーモニカを楽しむ事の延長線として、より素晴らしい演奏をしたいと願う人達の身近な目標の一つとして、（多分いろいろな不備があることは承知の上で）同志の人々のやむにやまれぬ思いから、あえて地域を限って10年前に第1回の開催に踏み切ったコンテストであります。（当時のその“同志”の幾人かは既に故人となってしまいました。）

いかにフェアなコンテストを提供するかが私共開催者の最重要課題と認識しておりますが、まだまだ改善の余地が多々あることも承知しております。（例えば、課題曲と自由曲の2曲で評価するとか、課題曲の選考で基準を越えた人で自由曲を競う、あるいは総合点にする。また第1回のコンテストの様に（審査員が7名でありましたので、）審査員の最高点と最低点を除外した残りの評価で判定を行う。これから応募者が多ければ必然的に予選を行うこととなりますが、MD録音による予選が必要。もっといろいろなジャンルを設けるなど）いずれも開催側にとって、より膨大な時間や労力、費用をかけなければなりません。今後もより平等に、より多くのジャンルを提供するべく、出来る限りの努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

さて今回はコンテストの聴衆の希望が多く、一部お断りした方も少なからずありました。しかしコンテストは聴衆のために行うものではありません。本来、出来るだけ静かな環境のもとで、演奏者が集中出来る環境を確保したいと考えておりますので、演奏を是非とも聞きたいと思われる方が多ければ、会場を広くするのではなく、各出演演奏者の承諾を頂いた上で、後程きれいに取った録音を（有料になるかと思いますが）聞いて頂く事を考えています。

コンテストに参加、めでたく入賞された方々には、この度の受賞、本当におめでとうございませう。どうぞこれからもより一層の研鑽を積まれ、ある方はプロに、またある方は後輩の指導に、あるいはハーモニカの普及、発展、ボランティアや演奏活動にご活躍されることを願っています。

ただこの場を借りまして、私より一言お願いがございます。

皆様の栄誉は記録されました。向後も語り継がれる事でしょう。そして少なくとも当地域での演奏レベルも証明されました。自信をもって内外に活躍する追い風にして下さい。

ただ、皆さんはまだプロの演奏者ではありません。今回の受賞は、あくまで（ジャンルは限られていますが、）あなた（あるいはあなた方）の今後の演奏する曲全てに今回の順位が付いている訳ではありません。特に優勝された方は、今後何を演奏されても1位という事では無いのです。あくまで今回演奏された曲が出演者の中で1位であったのです。プロはいつでもある程度以上の高度の演奏をこなすことが出来るけれど、アマチュアは、この1曲に限れば、プロにも負けないという自負をもっているという心意気には私は賛成です。今後貴方の演奏される曲には、聴衆は耳をすませて演奏に聞き入るでしょう。どうぞ今回の成果に慢心する事なく、謙虚に研鑽を積まれることをお願いしておきます。

第6回西日本ハーモニカコンテスト 入賞者一覧

実行委員長（関西ハーモニカ連盟理事長 仲村 眞）

今回は、応募者が51人組（辞退者、欠席者を含む、以下同じ）であり、聴衆は300人の定員を超え、お断りをかたも多くあったという現状です。

最近はこのコンテストが認識され（当然ハーモニカ祭りよりいい演奏が聞かれる）注目を浴びて来たように思います。

入賞者一覧（出場者数と演奏曲名を含む）

I ジュニアソロ 2名

- 1位 岡 直弥（大阪府四條畷市） 思いがかさなるその前に
- 2位 該当者なし
- 3位 熊谷優菜（京都市） ゴセックのガボット

III クロマチック・クラシック 10名

- 1位 宮田 薫（京都市） トレド
- 2位 園 友栄（大津市） チャルダッシュ・インタメッツォ
- 3位 金城武生（京都市） バガニーニのテーマによるコンサートエチュードより
- 3位 浦部元子（京都市） モンティのチャルダッシュ

IV クロマ・ジャズポピュラー 10名

- 1位 北村サユリ（京都市） シェルプールの雨傘
- 2位 鈴木達也（枚方市） ブルーゼット
- 3位 中島一夫（福岡県筑後市） 黒いオルフェ

V 複音 16人

- 1位 梶谷郁男（西宮市） 荒城の月
- 2位 妹尾裕子（宮崎市） アルルの女よりファランドール
- 3位 高阪他美子（神戸市） 「城ヶ島の雨」による幻想曲

IX フリー・ソロ 3人

- 1位 妹尾裕子（宮崎市） 情熱大陸
- 2位 清水由美（福岡県大牟田市） 悲しい酒

VI デュエット 4組

- 1位 ハーモニー（福岡県大牟田市） アリラン
- 2位 虹色倶楽部（広島県尾道市） ウェストサイドストーリー
- 3位 Mika de Monica（茨木市） パッヘルベルのカノン

VII 小アンサンブル 4組

- 1位 美鈴カルテット（広島市） イムジン河
- 2位 オアシス（広島市） ヴァルセンティエノ
- 3位 洛水レディーズ（大津市） ラクンバルシート

VIII 大アンサンブル 2組

- 1位 スウィング・ダックス（大津市） 春の日の花と輝く
- 2位 ひろしまリードハーモニカアンサンブル（広島市） イムジン河

第6回西日本ハーモニカコンテスト優勝者(一覧表参照)



ソロ部門優勝者



美鈴カルテット ↑

スウィング・ダックス ↓



ソロ優勝者 左から複音 榎谷育男氏 フリーソロ 妹尾裕子氏 ジュニア 岡直弥氏
 クロスチック・クラシック 宮田薫氏 クロスチック・ジャズ・ポピュラー 北村サユリ氏

写真のトラブル(原因追求中)により不満足な写真となりました。
 チュエット部門優勝者の写真を撮り損ないました。
 お詫びします。

始めて3年で1位、

2年後はジャズ・ポピュラーで上位を狙う

ジュニア・ソロ部門優勝 岡 直弥

小学3年生からクロマチックハーモニカを始めて、3年になります。

小学生として最後の年、5月にF I Hジャパンコンテストに初めて出場して3位に入賞することができたので、この西日本ハーモニカコンテストも初めての出場でしたが、ジュニア・ソロ部門で1位をとる事が出来たのでとても嬉しかったです。

2年後はクロマチック・ソロ（ジャズ・ポピュラー）部門で上位を狙えるように一生懸命に頑張っていきたいです。

こだわりのライブ感が

クロマチック・ソロ（ジャズ・ポピュラー）部門 優勝 北村 サユリ

7月末日締め切りのレポートを、29日になんとか提出して臨んだコンテスト。まさかの優勝、やや興奮状態で壇上を後にしたときに渡された用紙には「優勝の言葉、ご執筆依頼」と書かれていました。一瞬「またレポートか・・・」と思ったのですが、こういうレポートならいつでも大歓迎か、と考えを改めたのでした。

7月は私にとって本当に多忙な月でした。2度目の大学生活（通信）も終盤に入り、試験やレポートに毎日追われていましたし、仕事の面でも節目を迎えることとなり、引き継ぎや準備で忙しくしていました。コンテストに応募したのを後悔したこともありましたが、2年に一度しかないのだからと自分を奮い立たせました。

コンテスト出場にあたり、私は「ライブ感」にこだわりました。そして、岡部昭さんという他方面で活躍されているギタリストに協力していただけることとなりました。パートナーが見つからなければ応募はしないつもりでした（岡部さんに感謝！）。曲は時折ライブで演奏しているものでしたが、コンテストで演奏するには難易度がやや低く、テンポを速くすることで対応、すると今度は演奏時間が短くなりすぎるのでソロ部分を16小節追加しました。この追加した部分が本番1週間前にまだ仕上がっていなかったのですが、レポートと両立させて本番に間に合わせたのは今思えば奇跡に近かったです。（何事も、余裕を持って取り組もう！教訓です・・・。）岡部さんにはお忙しい中何度も練習に付き合ってくださいました。一緒にあわせていくうえでいろんなアイデアが浮かび、最後の転調などもその一つでした。

本番は、ライブと違って1曲勝負なので本当に緊張しました。よく、曲目の多いライブの方が大変なのは？と聞かれるのですが、ライブですと何曲か演奏しているうちに調子が上がってきますし、また、MCを挟むことによって気持ちも落ち着きます。それに比べてコンテストでは、1曲だけで、しかもひと言も話せない、そして前列にはムスカシ顔をした大先生方が鎮座されています。失礼ながら、前列は見ないようにして演奏させていただきました。（お気を悪くされたらすみません！）久しぶりに手足が震えてしまいました。演奏後に振り返ると、ライブハウスとは違う大きなステージで、みなさん真剣に聞いてくださっている中で演奏させていただくことができ、短かったけれどとても充実した時間でした。

今回、こだわりの「ライブ感」が評価され、とてもうれしく思っています。福祉の道に進むはずが、ひょんなことからハーモニカ教室をはじめの予定になっていましたので、今後は後進の指導とライブ活動を通じて、ハーモニカの魅力を一人でも多くの人に知っていただけるよう微力ながらがんばっていきたいと思います。

最後に、私をここまで育ててくださった先生方、共演者の皆様、ファンの皆様に心より感謝御礼申し上げます。

好きな「情熱大陸」を1音1音大切に

フリー・ソロ部門 優勝 妹尾 裕子

フリーソロ部門とは、どの部門にも属さない種類のハーモニカや、複数の種類のハーモニカを使うソロ演奏です。

今回、私は「情熱大陸」を吹きました。この曲は色々考え悩みました。

①ハーモニカ2種類使った事、②譜面を書いた事、③ピアノ伴奏を頼んだ事。

まず①のハーモニカを2種類使った事とは、私が持っているCDは、バイオリンとバンドネオンで演奏されていたので、自分が持っているハーモニカの中で音色の近いものを探し、バイオリンパートをトンボのユニカ、バンドネオンパートをオクターブのハーモニカで吹いてみました。

クロマチック1本で吹いても大変な曲をオクターブハーモニカを2本重ねて吹くのは、音も切れてしまうし、複音ハーモニカを吹く私にとって、オクターブハーモニカは一つ一つの穴が大きく、吹いても「スカ」「スカ」と音が出ないのが辛かったです。本当に最初はどうなるのかと思いました。②の譜面を書いた事とは、オクターブのハーモニカを使うと音が足りないので、ある場所は、低音のみ使ったり、ある場所は高音のみを使ったりしながら、音を探し探し譜面を書いていきました。吹きながら、この音域だとインパクトがないとか、ピアノ間奏は何小節にするか、ハーモニカ持ち替えの為小節を増すか、やっぱりここはダメと言うところがあるので、仕上がったのはいつかと言うと・・・かなりコンテスト直前でした。

③のピアノ伴奏を頼んだ事とは、前の方にも書きましたが私は複音ハーモニカを主にやっています。今回も複音ソロ部門で「ファランドール」を吹かせていただきましたが、こちらは無伴奏です。西日本コンテストは今回で3回目になりますが、2回会場で和谷麻里子先生とお会い出来たので、伴奏は麻里子先生に頼もうと思いましたが、問題はここからです。友人に、伴奏をお願いしたい時はどうすれば良いか聞くと「はい携帯電話を出して下さい、はい右手の人差し指を出して下さい、はい番号を押して下さい。簡単よ」と・・・ふざけてると思いましたが結局その通りにしました(笑)。

ご存じのかたもいらっしゃると思いますが、私は宮崎県で教室を持っています。また神奈川でトリオも組んでいるので1カ月に1回羽田⇔宮崎を飛行機で往復しています。人は私をお金持ちと呼びます。でも現実にはレッスン代が全部飛行機代になってしまいます。親は「お金にならないならハーモニカは趣味だ、お金になる仕事をしろ」とそんな事を言われ続け、私も弱気になっている時の1位だったので、とてもうれしく受賞式のステージでは涙がとまりませんでした。親に報告電話をすると「優勝賞金はいくらだ」といつものように言われましたが笑って「何もないよ」と答えられました。

何かが自分の中でふっきれたのかも知りません。今回吹いた「情熱大陸」は私の大好きな曲で、練習がとても楽しくアツと言う間に時間が過ぎ、時計を見てビックリと言うことも数知れず・・・。

これからは少しずつ時間がかかっても、愛着がわく曲を増やして行きたいです。そして、今回1音1音丁寧に吹く大切さが分かりました。前々から和谷先生より聞いていましたが(反省)やっとこの言葉が心まで届きました。また「妹尾さんは頑張っているから神様が日のあたる所に出してくれたんだね」と壽孝先生が言っていたよと人伝えで聞いたり(涙)

お二人の先生方より素敵な言葉を頂き幸せです。

両親は私が裕福に育つ様裕子と名付けたと・・・。

生活は裕福とは言えませんが、心は裕福です。

《最後になりましたが》西日本コンテストスタッフの皆様お疲れさまでした。そしてありがとうございました。

デュオ優勝 ハーモニー 中島 一夫

ハーモニーを結成して約8年、これまでさまざまな演奏活動をしてきました。

活動の場は、主に老人ホームや児童福祉施設、病院、図書館です。地域の老人会や商店街からの依頼もあり、演奏回数は年間70回を超えた年もあります。各地で演奏しているとさまざまな場面に出くわします。ある施設でのこと。演奏中に10歳ぐらいの男の子が突然私の前に立って、棒切れを振り始めました。私は一瞬びっくりしましたが、その子の気持ちですぐ分かったので、棒切れの動きに合わせてるように演奏を続けました。その子の満足そうな顔を今も忘れることができません。またある施設で演奏が終わった時のこと。一人の男性が懐かしいハーモニカの音色に感極まり、涙をぼろぼろと流しておられました。普段は無口で感情を表に出さない方だったようで、これには職員の方が驚いていました。

今回賞を受賞できたのは、これまで指導を受けた師匠や演奏を聴いてくださったたくさんの方々のお陰です。

またコンテストという機会を与えて頂いた主催者並びに関係者の方々に深く感謝します。

楽器の中でハーモニカほど人の心を揺り動かすものはありません。忘れかけていた過去の記憶を呼び覚まし郷愁の世界へと誘います。これからさらに演奏技術を磨き、一人でも多くの方にハーモニカを聴いてもらうようさまざまな機会をとらえ演奏活動を続けていきたいと思っています。

デュオ優勝 ハーモニー 清水 由美

関西ハーモニカ連盟の皆様 こんにちは！

初めまして、デュオ“ハーモニー”の清水です。嬉しいことに西日本ハーモニカコンテストにおいてデュオ部門一位を獲得することが出来ました。

連盟から依頼された「優勝者の言葉」を書くにあたり、それぞれで感想を書こうという事になりました。

～清水からのメッセージ～

曲そのものの良さに加え抜群の編曲！心から楽しんで唄うように演奏しました。

二人で織りなすハーモニー、一人の演奏の後を追いかけるように又一人が演奏する。

情緒と軽快さが審査員の琴線に触れての優勝だったと思います。

思えば10年前小さな喫茶店でグループで始めた複音ハーモニカのレッスン、紆余曲折を経てクロマチック・ハーモニカが私生活の中心になりました。一步でも師匠に近づきたいと練習の日々です。（壁が幾重にも立ちふさがって・・・トホホ）

楽器遍歴が激しい私がハーモニカだけは10年も続きました！“ハーモニー”という存在があったればこそ。一人ではきっと今までのように練習不足で挫けていたと思います。

デュオでやっていく限り、甘えを自分に許さないし、負けられない気持ちも働きます。感謝で一杯！

ハーモニカって素敵ですよ～体から直接音となって相手の琴線へ

感情表現がそのまま伝わるビッグな楽器！

アカペラ演奏の魅力

西日本ハーモニカ・コンテスト大アンサンブル部門に優勝して

スウィング・ダックス 編曲・指揮・山森ふさ子

私たち、スウィング・ダックスは、母なる琵琶湖から唯一流れ出ている瀬田川の近くの公民館で練習をしています。

名前の由来は、川面で何匹かのおひるたちが、楽しそうにスウィングしている様子をイメージしてつけました。男性2名と女性4名の、とても仲の良い陽気なダックスです。

スウィング・ダックスの母体である「滋賀ハーモニカ笑好吹（エコーズ）」は、毎年7月にびわ湖ホールで定期発表会を行っています。今年で5回目になり、スウィング・ダックスも初回から出場し、めきめきと腕を上げてきました。

滋賀ハーモニカ笑好吹（エコーズ）の発表会では、いつも2曲演奏しますが、いつも1曲はバックミュージックにあわせて、お洒落で軽快なポップスの曲を演奏し、もう1曲はアカペラでの演奏をしています。アカペラ演奏の魅力は何と言っても、ハーモニカだけの澄んだ美しいハーモニーにあると思います。特に私たちは、バス、コードハーモニカを使わず、6人が複音のCとCシャープだけで演奏します。テクニックとアレンジは大変ですが、仕上がりはとても美しい音色になります。バス、コードハーモニカを使わないで演奏するアンサンブル形式に不安がありましたが、今回のコンテストで認められ、大変嬉しく、光栄に思っていますと共に大いに自信ができました。

アカペラ演奏のやり始めは、2パートぐらいでしたが、しだいに3パート、4パートへと分かれていき、ある部分では一人1パートの合計6つの音が重なりあうことができました。6音の積み重ねですからテンション・コードになり、一瞬お洒落な魅力的なハーモニーになります。それがたまらなく嬉しくなり、より未知の音楽の世界へと引き込まれていきます。

ハーモニカ演奏では難しい楽譜を書いて申し訳なく思いましたが、スウィング・ダックスのメンバーは涼しい顔で練習してくれました。後から各自電話で教えあったり、通常の練習日以外に自主的に集まって練習したり、仲間で支え合っていることを、聞かされとても感動しました。

ハーモニーの美しさは、勿論練習の成果ですが、6人の気持ちが一つになって、皆で1曲を作り上げているという、寄せ合う心がなければなりません。そのことが本番ステージで証明できたことを、何より嬉しく思います。

今後も、スウィング・ダックスの6人の心をさらに一つにまとめ、ハーモニカの限らない演奏に取り組んで行きたいと思っています。

くーびりか張めて笑る春の館
西田 井田 秋風

シバング倶楽部 会員コーナー

関西から2名が入賞

F I H ジャパン主催コンテスト

編集局長

2006/5/28東京の電通ホールでF I H（世界ハーモニカ連盟日本支部）主催のハーモニカコンテストの決勝大会が開催された。

録音物による予選を通過したものが多数出場したが、関西からの出場者のうち次の2名が入賞した。写真ページ参照

クロマチック/ジャズ・ポップス部門

2位 氏原 茂 氏（大阪府大東市）

3位及び奨励賞 岡 直弥 氏（11歳、大阪府四條畷市）

全体の結果は次のとおり。

◆ グランプリ：（該当無し）

◆ 審査員奨励賞（決勝ライブ）：岡 直弥（大阪）、矢野康晴（愛知）

◆ ブルース部門（出場者9名）

1位：山田 真（東京）……………You Don't Know What Love Is/Gene DePaul

2位：下山田隆史（東京）…………… Tin Biscuit Boy/J.J.Milteau

2位：小林由紀子（東京）…………… Paris Tagine/Thierry Crommen

3位：三森和夫（宮城）…………… サン・オブ・ジューク/ピリー・ブランチ

◆ クロマチック/クラシック・ソロ部門（出場者6名）

1位：中國康介（神奈川）…………… ハーモニカ協奏曲第3楽章スケルツォ/スピバコフスキー

2位：吉兼崇彦（群馬）…………… マラゲーニア/エルネスト・レクオーナ

2位：岡田典子（神奈川）……………ファイアブランド/A.ラングフォード

3位：（該当無し）

◆ クロマチック/ジャズ&ポップス部門（出場者7名）

1位：皆川和義（栃木）…………… Hip-Notizer/不明

2位：氏原 茂（大阪）…………… 枯葉/J.Kosma

3位：岡 直弥（大阪）…………… 思いがかさなるその前に/平井 堅

◆ 複音ソロ部門（出場者9名）

1位：高索信幸（東京）… イギリスの印象「フラワーガーデンとレガッタ」/高索信幸

2位：田中義彦（神奈川）…………… 組曲第一番/田中義彦

3位：矢野康晴（愛知）……………アルルの女よりファランドール/ビゼー

◆ デュエット部門（出場者4組）

1位：岡田典子☆の場美紀子（神奈川）……………3つのアイルランド民謡/ジェームス・ムーディ

2位：（該当無し）

3位：Duo Noah（神奈川）…………… Sicilian Interlude/James Moody

◆ アンサンブル/小編成部門（出場者4組）

1位：ハーモニカトリオここみか（東京）…………… イタリアンポプリ/ナポリ民謡

2位：トリプル・ワイズ（神奈川）…………… ラ・クンパルシータ/マトス・ロドリゲス

3位：福島ハーモニカカルテット（福島）…………… ヴァルセンティーノ/トミー・ライリー

◆ アンサンブル/大編成部門（出場者4組）

1位：アンサンブル・パライーゾ（愛知）……………「詩人と農夫」序曲より/Suppe

1位：愛川ハーモニカアンサンブル（神奈川）…………… ドナウ河の漣/I.イヴァノヴィッチ

2位：（該当無し）

3位：寒川ハープ・エコーズ（神奈川）…………… ペルシャの市場にて/ケテルビー

連盟主催研修会 P A の知識

吉村 則次

7月9日(日) 13:30~16:30 大阪市中央区の愛日会館において、上記の研修会をさせていただきました。計画から始まり、場所の設定、資料のコピーと配布、受講料の集金、進行等お世話をしてくれた研修部のかたがたに感謝いたします。

テーマがテーマだけに、どれだけのかたに興味を持ってもらえるか不安でしたが約30名のかたがお出でになり、熱心に聞いていただけました。

それでも、言いたいこと、お教えしたいことが全部できたかどうかを顧みますと、自分にとっては不完全燃焼が残ります。もっと質問を受けて進めて行けたらよかったですと思いますが、この大きなテーマに対して時間が不足でした。

1、あなたの演奏をより忠実に聴衆に聞かせるには、2、演奏をより良く録音する方法、という二つの柱に基づいて、ハーモニカを人前で演奏する場合どういう注意が必要か、アンサンブルで人前で演奏する場合にどういう設備と注意があるか、演奏を録音する場合の注意、録音をしたものをコピーする場合の注意等、お話しをさせていただきましたが、研修開始前に、それぞれの自己紹介とともに「あなたはPAについて何を知りたいのか」ということを発表していただいたので、私にとっては、どこに重点を置いたらいいのかがわかり、非常に参考になりました。

だいたい次のようなレジュメに従って話をさせていただきました。

PA システムの知識

- ◎ PA とは何の略? Public Address (公開演説のこと)、音の入り口から出口までを言う
- ◎ ハイ・ファイとは、Hi-fidelity 忠実度 「元の音に忠実に大きくすること」を求める
- ◎ PA の構成は? 目に見えてなくてもプリ・アンプとメイン・アンプがある
 - 値段の高いものを買おう。各1個3万円をめど?
 - 音の入口 = CDプレーヤー、MDレコーダー・プレーヤー、LPプレーヤー
テープレコーダー、マイクロホン
 - 音を加工増幅するもの = ミキサー、アンプ、エフェクター類
 - 音の出口 = スピーカー 大きいスピーカーで小さく鳴らす
- ◎ PA システムの接続の方法 ミキサーを理解しよう。ダイヤグラムを理解しよう。
- ◎ コネクターの種類に注意! コネクターが合わなかったら接続できない
 - コネクターにも雄と雌がある。コネクターにもステレオとモノがある
- ◎ DI Box とは何か。バランス接続とアンバランス接続とは。
- ◎ ミキサーはモノラル。ステレオはモノラル2個で構成する。
- ◎ ステレオをモノラルにする方法に注意。正しいアダプター(転換用ジャック等)。
- ◎ 断線や接続不良を起こさない接続の方法
 - 線のつなぎかた、線のつなぐ順序。家で必ずテストを
 - 忘れ物をしないように、チェック・リストを書く
- ◎ スイッチの入れ方にもルールがある
- ◎ 公民館、デイサービス等小規模な会場に演奏に出向くときに必要な機材
- ◎ ホールでは、音響反射板を考えよう そのメリットとデメリット
- ◎ 大規模のホールの場合のPAはどうするか

◎ハーモニカの演奏に使用するマイクロホン

マイクロホンは、なにがいい？ダイナミックかコンデンサーか、全指向性か単一指向性か
ヴォーカル用か音楽収録用か、マイクロホンにどう対するか、仕様書は役に立たない
シュアの58、57とソニーの38Bが名器、ファントム電源に注意

高価なマイクにはスイッチがない。ミキサー側で調節している。

手持ちマイクかスタンドマイクかも重要

感度がいいマイクが、いいマイクということではない。

◎エフェクターとはなにか？ ピンからキリまであるエフェクター

エコーとは？リバーブとは？ディレイとは？イコライザーとは？

リバーブは最低必要か？ どんな音に加工するのか？

◎カラオケを使用する上での注意 マイクロホンとカラオケとの音量のバランス

ミキサーは必需品

MD、CDは、シングルプレイを（1曲で止まるように=AUTO PAUSE）

◎カラオケ用MD／CDの作成の仕方 短くするために途中カットする、その方法

◎ミキサーの使い方 レベルの決め方 どこで決めるか

使わないマイクはフェーダーで音を出さないようにする

マイクを動かすときは、全部のレベルをメインフェーダーでゼロにする

◎音のチェックは、目をつむって

◎関西ハーモニカ祭り、西日本ハーモニカコンテストのPAの方法と現状

録音の方法

◎録音の機器 カセットテープレコーダー（音楽には不適當）、MDレコーダー、DAT
ICメモリーレコーダー（不適當）、ハードディスクレコーダー（iPod等）
CD等

我々の録音に一番いいのはMDレコーダー

◎録音の仕方

音楽の録音には自動録音はやめてマニュアル録音を。写真をとるときと同じ
メーカーにより異なるので、それぞれの取扱説明書（＝とりせつ）をよく読んで
みよう。

いったん録音を止めると、マニュアル録音が解除され自動録音に戻るので注意。
一時停止ではそのまま続く。

プレーバックの場合も、停止したらその位置で止まったままになるのか、その曲
の始めにもどるか、そのディスクの最初の曲にもどるか、それぞれ機器により異
なる

録音用マイクロホンは何がいい？内蔵マイクはよくない、別売りで線がついたも
のを買おう。

スタンダード・スピードでとること。LPやLP4ではとるな

◎マイクロホンに触るな！ 買い物袋をさわるな ジッパーに触るな シャベるな

◎多重録音の知識と使用方法

以 上

第7回ハーモニカフレンドコンサート

もみじが色づくところです。平等院のほとり宇治川沿いを散策がてら、コンサートに出演なさいませんか。

会場は紅葉で有名な興聖寺の手前にあり、素敵な喫茶店に展覧会・演奏会用のアウトホームなフリースペースが併設されています。

演奏会終了後は好みのドリレクとケーキで懇談のひと時を過ごすのが恒例になっています。(出演者が少ないと無理ですが、過去3回はフリーで提供させてもらっています)

多数の皆さんの参加をお待ちしています。複音ハーモニカも歓迎します。申し込みの締め切りは11月8日(水)とします。ピアノ伴奏をご希望の方は会員の山口さんが担当しますので、早い目にその旨、連絡下さい。

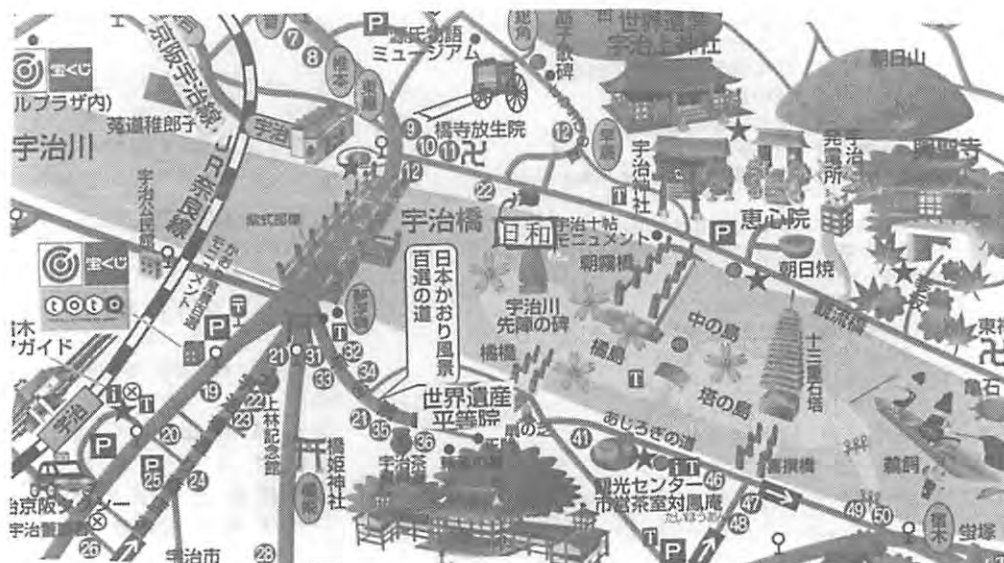
日 時 11月 12日(日) 12時 開演

場 所 フリースペース喫茶 宇治日和
京阪宇治駅徒歩5分
JR宇治駅徒歩15分

負担金 1000円

設 備 グラレドピアノ・拡声装置(マイク・MD)・譜面台

連絡先 川本建治まで。 電話 0774-22-5160
宇治市南陵町2-1-215



ハーモニカでクラシック



中谷 晃 (ハーモニカ)

長年中学校音楽教師として、またその間大阪府立横山高等学校音楽講師を勤める。吹奏楽の指導では、多数の金賞・優秀賞を受賞。西日本大会に優勝し、全国大会にも出場する。和泉市立槇尾中学校校歌、東大阪市高等看護学校校歌等を作成。

現在は和泉フィルハーモニックシンフォニックバンド主宰。和泉市社会福祉協議会ハーモニカ教室講師。関西ハーモニカ連盟所属。

■ 第一部 ■

ハーモニカ合奏

アイネ・クライネ・ナハトムジーク モーツァルト

荒城の月変奏曲 滝 廉太郎

ハーモニカ独奏

アヴェマリア シューベルト

ソルヴェーグの歌 グリーク

マドンナの寶石 フェラーリ

■ 第二部 ■

ハーモニカ独奏

交響曲第40番ト短調第1楽章 モーツァルト

ハンガリア舞曲第5番ト短調 ブラームス

ピアノ独奏

上を向いて歩こう

Amazing Grace

The Rose

フィナーレ～歌と合奏

みかんの花咲く丘

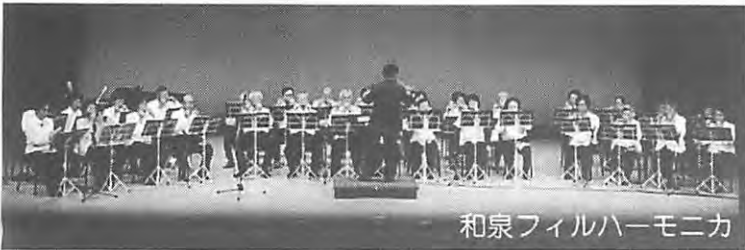
里の秋

故郷



山本比登美 (ピアノ)

幼少の頃から始めたクラシックピアノが起点となり、現在はポップスを中心に、ジャンルにとらわれないアコースティックサウンドアンサンブルを目指す。1998年「Solface」を友人と結成。老人ホーム、養護学校等で音楽ボランティアや教会でのライブ等の活動を続けている。



和泉フィルハーモニカ

10月1日(日)
14:00 ~ 15:30

大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

入館料：一般300 [240] 円、65歳以上・高大生200 [160] 円

※[]内は20名様以上の団体料金

中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および介助者1名は無料

【年間共通入館券】(府立弥生文化博物館・府立近つ飛鳥博物館)

一般1,500円、65歳以上・高大生1,000円

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は開館し翌日の火曜日が休館)

12月28日～1月4日

交通：JR阪和線「信太山」駅下車 西へ約600m

南海本線「松ノ浜」駅下車 南東へ約1,500m

国道26号線「池上町」交差点 南西角

駐車場：普通車80台、大型バス7台(いずれも無料)

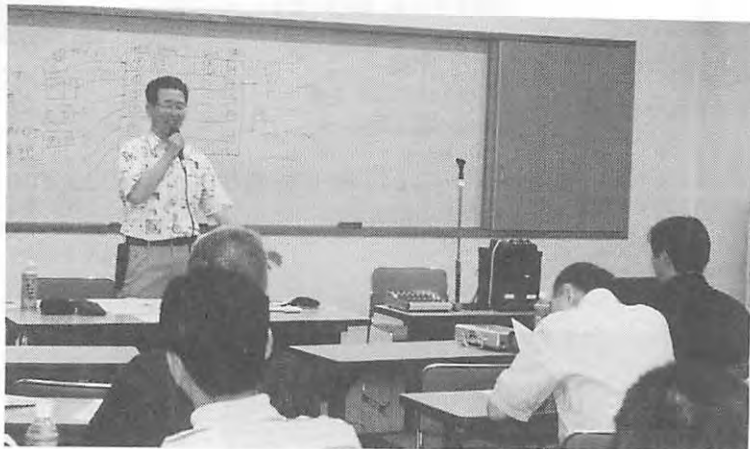
連絡先：〒594-0083 大阪府和泉市池上町443

TEL.0725-46-2162 FAX.0725-46-2165





2006/5/3-4 高槻ハーモニカクラブ 高槻ジャズストリートに出演



2006/7/9 当連盟主催 研修会 PAの知識 講師は吉村則次



研修会後のミニコンサートで
坂田 利雄





梁木進 2006/5/27 心齋橋そごう 滝の広場にてデモ演奏



2006/5/20 吉村則次

枚方市中村病院にて



ソフィア堺 めぐみ会ピアノ教室発表会にてゲスト演奏



2006/5/3
クロマチック
吹きまくり会
西宮フレンテ



大東アンサンブル
2006/5/14
大東公民館祭り



2006/5/28-6/4 岡直弥氏 よみうりテレビ「スタビカ」に出演



岡直弥氏 FIHコンテストで3位入賞

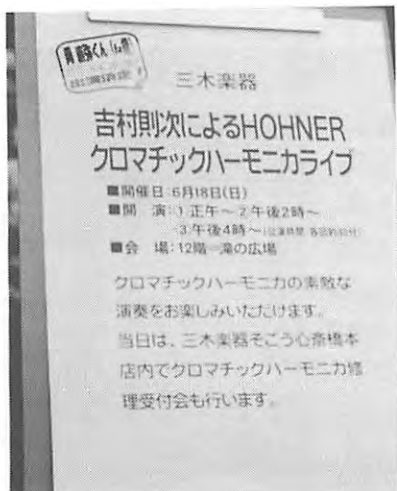
岡直弥氏 ウイリアム・ガリソン氏と 台湾のホテルで



大石昌美氏 7/29 NHK-BS昭和の歌人たち



岡直弥氏 アジア太平洋大会にて



2006/7/9 アジア太平洋大会参加者懇談会

徐園にて

宮崎久美と川戸慎二郎 →



第6回アジア太平洋ハーモニカ大会



第6回アジア太平洋ハーモニカ大会の会場 台湾縣政府のビル



高阪他美子



岡村貞彦



姉川敏彦



若い人ばかりしかないアンサンブル

アンサンブルは若い人ばかりでうめられていた



関西からの参加者の一部



台湾縣政府のビルの32階で



オープンステージで合奏



山本恭子と中橋まつ子



吉村則次

第 6 回 ア ジ ア 太 平 洋 大 会 (台 湾)

カ テ ゴ リ ー 別 、 国 別 、 出 場 者 数

吉 村 則 次

2006/8/3(木)～6(日)の4日間にわたり、台北の隣接都市である板橋市にある台北県政府ビルの中にある国際会議中心 International Conference Center of Taipei County, Taiwan において、台湾口琴芸術促進会(HAPA)、台湾口琴楽団主催により開催された上記大会のカテゴリー別、国別、出場者数は次のとおりであった。

欠席者と辞退者を含むプログラムに掲載された人数

MY=マレーシア、SG=シンガポール、IN=インドネシア

第6回アジア太平洋大会

コンテスト出場者

吉村則次 2006/8/15

カテゴリー		中国	香港	日本	韓国	MY	SG	台湾	IN	合計
伴奏なしの複音	ジュニア	36	3	1	10	0	0	43	0	93
	オープン	3	13	10	8	0	0	13	1	48
伴奏付の複音	ジュニア	11	1	0	0	0	0	23	0	35
	オープン	1	3	1	0	0	0	7	0	12
複音4部門合計		51	20	12	18	0	0	86	1	188
クロマチックソロ	ジュニア	11	13	2	1	3	0	34	0	64
	オープン	1	21	6	4	7	3	14	1	57
テンホールズ	ジュニア	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	オープン	0	1	0	0	4	0	9	0	14
デュオ	ジュニア	21	8	0	1	0	0	23	0	53
	オープン	0	18	4	1	1	0	12	0	36
トリオ	ジュニア	8	1	0	8	1	0	10	0	28
	オープン	0	8	0	2	4	0	17	0	31
4-6人アンサンブル	ジュニア	12	2	0	4	0	0	13	0	31
	オープン	0	7	1	4	4	0	15	0	31
7-13人アンサンブル	ジュニア	7	0	0	2	0	0	11	0	20
	オープン	1	3	1	1	1	0	5	0	12
オーケストラ	ジュニア	5	1	0	0	0	0	4	0	10
	オープン	1	2	0	1	1	0	3	0	8
	ユース	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	シニア	0	0	1	0	0	0	2	0	3
なんでもありシニア		1	0	17	3	0	0	3	0	24
なんでもありオリジナル		2	5	1	0	1	0	10	0	19
総合計		121	110	45	50	27	3	278	2	636
比率		19%	17%	7%	8%	4%	0%	44%	0%	100%
ジュニア・ユース合計		111	29	3	26	4	0	168	0	341
オープン・シニア合計		10	81	42	24	23	3	110	2	295
合 計		121	110	45	50	27	3	278	2	636

ジュニア=16歳未満
ユース =12歳未満
オープン=年齢制限なし

オーケストラシニア=平均で50歳以上
なんでもありシニア=全員が60歳以上

日本のハーモニカは老人天国か

第6回アジア太平洋ハーモニカ大会に出席して

吉村 則次

シニア・カテゴリーの70%は日本人

今回も、コンテストのカテゴリーの一つに、「シニア」というものが設けられてあった。日本では考えられないカテゴリーである。なぜかというと、日本では、私自身も含めて、ハーモニカ愛好者のほとんど全部がシニア（今回の大会の基準では60歳以上）であるから。前回の香港では、それは長者組と呼ばれていたが、今回は長青組と言われていた。同じ中国語でも香港と台湾では異なるのか。我々日本人にとっては長者組の方が金持ちになったようでうれしい。長青組というと、青二歳と言われているようで……。永遠の青年という意味か。

今回シニアのカテゴリーには、全体で24人・組のエントリーがあったが、そのうち日本人はなんと17人・組、全体の実に70%に当たった。5日土曜日の午後、ほとんど連続で日本人が演奏し、その間にちょいちょい韓国と台湾のかたが入っているという状況であった。

東南アジアはジュニアの天国

これに反してジュニア部門は、日本からは岡直弥（四條畷市）、園友栄（大津市）（いずれもクロマチック・ジュニア）、高橋雅聡（複音ジュニア、横浜）のわずか3人であった。

複音ジュニア無伴奏のカテゴリーの予選は、初日3日の午前から午後にかけてなんと93人が延々と演奏していた。伴奏付きジュニアは35人。またクロマチック・ジュニアカテゴリーでも64人が演奏していた。~~また~~ジュニア3部門出場者合計192人のうち、日本人はわずか3名、1.6%ということであった。プログラムに載った出場者を、カテゴリー別、住居地別（国籍ではない）に数えた数はp32の表のとおりであった。特に最後の欄の国別のジュニアとオープンの出場者の比率を見ていただきたい。

皆さんはこれを見ていかがお考えでしょうか。

「若い人を見ると、将来が見える」とよく言われます。

低調な日本からの出場者

クロマチックソロのみで優勢

東京の稲川有徳が1位を獲得

カテゴリー別の上位入賞者の国名は、次のとおりである。

日本からの出場者では、関東の稲川有徳氏がクロマチック・オープン1位、岐阜県の比嘉祥人氏が同2位、大津市の園友栄氏がクロマチックジュニア部門で3位に入賞した。また7/30の大津市での西日本コンテストのフリーソロ部門で優勝した宮崎県の妹尾裕子氏（p17）が同じく自由部門で優勝していたのが光っていた。またシニアカテゴリーでは、山口善吉氏が1位、西川義夫氏が2位に入った。

アンサンブルでは、日本から7組出演していたが、大合奏シニアで神奈川県のパラリスが2位に入賞したのみであった。

過去の日本の活躍を知っているものにとっては寂しい限りではある。

ちなみに、現在ハーモニカの生産国の一位は中国であると聞く。消費量も世界一かと思う。

	参加数	1位	2位	3位
無伴奏複音ジュニア	93	中国	台湾	台湾
無伴奏複音オープン	48	台湾	台湾	台湾
伴奏付複音ジュニア	35	台湾	中国	台湾
伴奏付複音オープン	12	台湾	台湾	台湾
クロマチックジュニア	64	香港	香港	日本(園友栄)
クロマチックオープン	57	日本(稲川)	日本(比嘉)	マレーシア
テンホールズジュニア	3	台湾	台湾	台湾
テンホールズオープン	14	マレーシア	香港	台湾
二重奏ジュニア	53	香港	香港	台湾
二重奏オープン	36	台湾	マレーシア	台湾
トリオジュニア	28	台湾	台湾	マレーシア
トリオオープン	31	マレーシア	マレーシア	台湾
4～6人アンサンブルジュニア	31	台湾	中国	台湾
4～6人アンサンブルオープン	31	マレーシア	台湾	台湾
7～13人アンサンブルジュニア	20	台湾	中国	台湾
7～13人アンサンブルオープン	12	香港	香港	台湾
14人以上大合奏ジュニア	10	香港	中国	台湾
14人以上大合奏オープン	8	台湾	台湾	香港
大合奏ユース	4	台湾	台湾	台湾
大合奏シニア	3	台湾	日本(糸リス)	台湾
なんでもありシニア	24	日本(山口)	日本(西川)	韓国
なんでもありオリジナル	19	日本(妹尾)	香港	香港

進んでいるコンテストの採点

前回の香港大会でもそうだったが、大会は非常に組織だてで行われていたようである。台湾のハーモニカ愛好者が、そろってなんらかの係についていたのではないかという感じがした。大会、特にコンテストには、多くの役割が必要である。それぞれの会場の受付、司会、出場者案内、進行、コンピューター（スクリーンに出場者、曲名、次の出場者の名前を表示する）、ドア係等多くの人手がいる。

前回の香港ではイベント業者が入っていたようであったが、今回は最初の事務である申し込み受付から台湾のハーモニカ団体が行っていたようである。PAのみは一部専門業者？。

コンテストの予選の結果は、予選終了3時間後に、全員の獲得点と順位を含めコンピューターでアウトプットされた表で掲示された。単に各審査員がつけた点数の合計で決めていたようで、予選終了後3時間で結果を表にして出すということから見ても、終了後の点数の修正や審査員間の打ち合わせがなかったものと思われる。

なお、今回は、出場者と同じ国の審査員の採点は除外され、最高点と最低点は無視される、という方式でされた。この審査の方法は事前に案内書に載せられていた。

愛国心、郷土愛というのは必要だが、これにより自国人をひいき目で見えて高い点をつけるのは避けられたかと思われた。ワールドサッカーでは日本を、プロ野球では阪神、高校野球では自分の都道府県の代表または自分の出身地の代表を応援するのはごく当たり前だが、コンテストでも、自分の国の人、自分の生徒をついつひいき目に見てしまうのは当然であろう。サッカーや野球では得点というもので決まり、判定がはいる余地が少ないからまだいい

が、コンテストは「判定」だけなので、いろいろ問題がある。

しかし一方「コンテストは人が判断するものだから、こういうものだ」という納得することも必要であろう。すなわち1位が絶対的に2位より上だとは言えないものである。

今回のコンテストの会場の多くは、国際会議場であり、各座席に机とマイクロホンがあるのはいいのですが、あくまで「声」のための会場で、それがよく聞こえるように、ということとは反響、残響がないように、全部の壁には分厚いカーペット状の布が貼られておりました。

ですから、だいたい音楽の音は小さく、音楽を演奏するには適当ではない会場でした。(今回のコンテストは、ソロアンサンブルとも全部マイクロホンが使われていました。) マイクに近づいて演奏した人が勝ち、という感じがしました。

ハーモニカは若者の楽器？

コンテストは、日本の小規模のコンテストとは異なり、複数の会場で同時進行で行われるものであったから、一人の人が全部を見るというわけには行かず、私もプログラムを見て選択してあちこち見に行ったもので、全体の様子をお知らせできませんが、アンサンブルの素晴らしいには圧倒され、極端な言い方をすれば「日本はもうだめだ」という悲観的な観測を持たざるを得なかった。

まず、アンサンブルの出場者は全部若者であった。それに予選の段階から素晴らしい演奏ばかりであった。小学生の団体から大学生の団体まで、ひいき目に見てもすべて35歳以下ではなかったかと思われる。中国においてはコンテスト出場数ジュニア121、オープン10、台湾ではジュニア168、オープン110で、いずれもジュニアがオープンより多い。特にこの中国の状況はどう理解したらいいのだろうか。

日本でも若者のアンサンブルがない訳ではない。厚木を中心とする神奈川県あたりには若者のグループがいる。しかし関西では若者のアンサンブルはゼロであり、高年齢者のアンサンブルは多いが、内容では到底太刀打ちできない。機会があれば大会で録音したものをお聞かせしたいと思うが。

上にも述べたが「若い人を見ると、将来が見える」というものさしを当てはめて見ると、現状のままでは、日本のハーモニカの将来は暗いと言わざるを得ない。

「日本でも昔はそうであった、したがって、アジアの他の国も将来は日本と同じようになる、ですからむしろアジア諸国は日本より遅れているのだ」と、私は今まで負け惜しみを言ってきたが、今回はそんなことで安心していられる状態ではないと感じられた。

なぜ日本では若者が消えてしまったか？アジア諸国では盛んなのか。

「日本は健闘している」「非常に盛んである」と発言するかたもままおられるが、これは愛好者に対する「はげまし」と指導者やメーカー側からの日本の「ハーモニカを盛んにする」ための暖かい「政策的」な意味を含むものと理解する。

若い人がかっこよく、素晴らしい演奏をしていると、他の若い人も当然自分もやってみたい、やってみようという気持ちになる。特に若い女性が若い男性とともに楽しそうに演奏しているのを見るのは気持ちがいい。

それでは、他の国ではなぜ若い人がかっこよく、素晴らしい演奏ができるのか。

指導者、練習場所、学校の取り組み、ハーモニカに対する一般の理解、その他の生活環境等々が考えられる。我が国に目を向けると、かっこいい上手なアンサンブルがない(上述のとおり非常に少ない例はある、関西にはない)理由は、日本では容易に練習できる練習場所が確保できない(アジア諸国では学校がその役割を果たしているのかと思う)ことが大きい。住宅環境は、台湾や香港を見ると、むしろ日本のほうがいい、5人ぐらいのアンサンブル

ルなら自宅の中で練習できる人も少しはいる。日本では公共施設（公民館等）はほとんど入り込むことは無理、学校も使わせてくれない、世間の理解がない。

今回のアンサンブルの出場者の名称に、ジュニアでは、上海市八初級中学口琴隊、協和雙語尚音学校口琴団、上海市教科団實中口琴団、上海光明小学口琴団というようなものが見られ、オープンでは彰化中山小校友隊、上海光明小学教師口琴団、新竹縣教師口琴合奏団、文大華岡口琴社校友會、附中校友口琴樂團、というようなものがあり、ジュニアもオープンも学校単位のハーモニカ団体が多いことを示唆している。

日本では、若者が音楽以外の「他のもの」に興味を示して「音楽」（ギターやヴォーカルによるやかましい音楽は除く）には興味を示さない。「他のもの」とはパソコン、テレビゲーム、携帯電話、自動車、異性等いろいろあると思われる。

アジア諸国でも、中高年のアンサンブルが見られないのは、やはり日本と同様、練習場所、練習時間等が得られないからだろう。

しかし、理由はいろいろ考えられるにせよ、若い人が素晴らしいアンサンブルをしているのを見るのは文句なしに楽しいし、うらやましい。関西の現状を見ると落ち込む。

ジェリームラッド、アドラートリオ、コンプリオトリオ、等のコピーが大部分

アジア各国の若いアンサンブルが演奏しているものはジェリームラッド（ほとんどピート・ピーグスの編曲）、アドラートリオ、コンプリオトリオのコピー（音楽を聴いて楽譜に書くことを言う、ゼロックスで楽譜をコピーすることではない。以下同じ）がほとんどであったようである。それらの楽譜が手に入る訳ではないので、録音物を聞いてコピーをしているのであろう。音楽のコピーは、やってみると分かるが、非常に非常に難しいもので、だれでもできるものではない。

私は、トリオ、4～6人アンサンブル、7～13人アンサンブルを集中的に聞き行き、録音を取ってきた（録音、写真は、演奏に影響を与えない限りOKであった、フラッシュは禁止）が、音だけ聞いているとプロのCDを聞いているようで、何回も聞いても聞き飽きないものである。

単にブンチャブンチャやブンチャッチャ・ブンチャッチャの曲はなかった。

研修部が機会を与えてくれれば、他の国のハーモニカ事情を説明し、彼らの演奏をお聞かせしたいと思うが。

私自身も、ソフィア堺アンサンブル、法円坂アンサンブル（元大東アンサンブル）、堺女性大学のアンサンブルの指導をしているが、大きな顔で「アンサンブルを指導しています」なんて言えたものではない。アジア各国のものを聞いて落ち込んでしまう。もっと厳しく指導をしなければと思う。

大アンサンブル（14人以上）は、私は聞けませんでした。齋藤壽孝さんによると、塞維拉的理髮師序曲（セビアの理髮師のこと、台湾の附中校口琴樂團のものと考えられる）は、今まで聞いたセビアの理髮師の中では最高だったと言っておられました。このカテゴリー（ハーモニカ以外の楽器も許されている）では、50人を超えるオーケストラがざらでした。

「複音は日本」は過去のもの クロマチックソロでは上位に入賞

「クロマチックでは外国にはかなわないが、複音では日本が最高」ということが常識であっ

た。過去の多くの日本の奏者、編曲者、メーカーによる楽器の開発努力等のおかげで、日本の複音は素晴らしかった。今でも素晴らしいと思う。海外のコンテストでも常に上位入賞者を独占して来た感があった。

しかし、この常識がくずれて来ていることを認識しなければならないと思う。

今回は、台湾の謝宗頤という若い人（ついこの間まではジュニアに出ていた）が俄羅斯民謡「黒眼睛」を吹いて複音部門で優勝していた。複音オープンには全体の48人中日本から10人が出場していたが、予選通過者は3名あったが入賞者はなかった。

ジュニアのアンサンブルのほとんどは、クロマチックではなく、複音のアンサンブルであった。多くは日本の大人のアンサンブルよりはるかにいい演奏をしていた。

これに反し、クロマチック部門では、関東の若い稲川有徳さんが優勝、同じく沖縄県の若い比嘉祥人さんが2位に入った。またジュニア部門では、今年の西日本ハーモニカコンテスト一般の部2位の大津市の若い園友栄さんが3位に入賞した。これのみは誇りに思えた。

ハーモニカの人に会えるのがうれしい 隣の部屋にガリソン！

国際的なハーモニカ大会の魅力は、いいコンサートが聞けること、真剣な高度なコンテストが聞けること、大会参加を口実に旅行ができること、というようなこともあります。私にとっては、いつも世界のハーモニカ愛好者に会えるということが一番でした。

板橋市（パンチャウ）では、私たち吉村グループ9人は馥都飯店（フードゥー・ファンディエン）という板橋市最高のホテルに泊まることができましたが、私と姉川敏彦さんの部屋の隣が、中国北京出身アメリカ在住の私の友人フー・チア・イー（何家義）、別の隣が岡直弥君親子、さらにその隣があつたウィリアム・ガリソンでした。

なんと岡直弥君は、ガリソンの隣の部屋で、毎日ガリソンの練習を壁越しに聞いていたのです。また岡直弥君の練習が毎日ガリソンの耳に入っていたのです。岡直弥君はガリソンが誰だかも知らないで、最高のジャズハーモニカ奏者の一人だと言ってあげましたが、これが非常に素晴らしいことであったことだと将来彼も認識することと思います。ガリソンはホテルの廊下で私に、「このいい音の主に会わせろ」と言って来ました（私とガリソンは旧知の仲）ので、岡君のホテルの部屋で岡直弥君会わせました。「私は毎朝7時から、世界で最も美しいハーモニカの音を聞いていた」と彼に言っていました。ガリソンがジュニア・クロマチックの審査員であったなら、岡君はずっと上位に行っていたことは確実です。

10/15の「さやかホール」での関西ハーモニカ祭り、11/5の堺市総合福祉社会館での南大阪ハーモニカ祭りでは、この岡直弥君の演奏を聞くことができますからご期待ください。

ウィリアム・ガリソンのほかジグムンド・グローブ（ノルウェー）、ウィリ・バーガー（イタリア＝ホーナーのハーモニカ「アマデウス」の設計者で演奏家）、イェンス・ブンゲ（ドイツ）、ロバート・ボンフィリオ（アメリカ）等有名人はすべてこの馥都飯店に泊まっておられ、ロビーや朝食の時に会いました。我々が早くJTBに予約注文したおかげで、吉村グループ9人はこの幸せに浴したのです。

プロと言われる人でも、毎日毎日練習をしているのだということも分かりました。

関西からの参加者、台湾のステージで演奏

参加者の中には当然コンテストに出ないかたも多くおられ、そういうかたはハーモニカ愛好者でありながら、ハーモニカの大会に行ってもハーモニカを全く吹かないということが当

然起こります。

それで、関西からの参加者全員に「台湾の大会でステージに立った」といういい思い出を作ってほしいと思い、オープンマイク（フリーステージ）での演奏を計画しました。最初、我々がコンテスト等に出る幕がない土曜日午前をねらいましたが、すでに来賓等の演奏で詰まっており、どうしようかなと考えていたときに、和谷泰扶さんが日曜日に40分の枠を取ってくれて、そのうち15分は和谷グループで使うが、あとはわれわれでどうぞというありがたい申し出があり、それに乗りました。

日曜日午後1:40～2:20の40分に、梁木グループの合奏とソロ、吉村グループの二重奏、岡直弥君のソロを楽しみました。写真を載せておりますからどうぞ。

なお、今回はひょんなことから（私は主催者の重要な一人である台湾のシンバ・ルーさん等と知り合いであり、今回の大会で修理コーナーを担当してほしいとの依頼がありましたが、お断りしたという経緯があり、また今回徳永延生氏作成の大全集20巻（CDカラオケと楽譜）を取り次ぎして上げたという理由から）私は来賓扱いという特別のお計らいがあり、別の時間（金曜日）に15分間の演奏時間が与えられ、4曲をMD伴奏で演奏させていただきました。また、大会前夜のレセプションパーティへの参加と大会参加費用（8000円）の免除という光栄にも浴しました。ありがたいことでした。

空気の悪さとスクーターに気をつける 台湾の印象

今回のアジア大会は、台北市の隣の板橋市（パンチャウ市）にある「台湾県政府」のビルの中にあるホールや会議室で開催された。淡水川を挟んで台北市の南東にあり、地下鉄（MRTという）で5つ目の駅、関西でいうと台北が大阪なら、板橋市は守口とか尼崎とか堺市とかいう感じでした。人口50万を越す大きな町で、台湾県政府があるところから、台北市を除く台湾北部の中心地でした。

台北101という、現在のところ世界一高いビルを持つような進んだ国ではあるが、道路は悪く、スクーターが多く、その運転が傍若無人で、非常に危険なものでした。歩行者に対する思いやりのない運転で常に我々は危険にさらされていました。中国本土と異なり、自転車は、ほとんど見かけませんでした。そのスクーターの排気ガスのために空気が非常に悪く、大きく深呼吸ができない国でした。

交通では、信号が「あと何秒で赤になりますよ」という秒数の表示があること、青が人の形で表され（日本と同じ）、それが静止しているのではなく、動くものであり、あともうすぐで赤になりますよという時には駆け足になるというのが非常におもしろいと思いました。

地下鉄（MRT）は奇麗で近代的で安かったです。初乗り20ドル＝80円、一番遠くでも65ドル＝260円でした。一日券は150ドル＝600円でした。バスは初乗り15ドル＝60円。

MRTの中は飲み物も禁止、1500ドル（6000円）の罰金と書いてありました。MRTの中だけは立派で、食べる人、化粧をする女の人もおりませんでした。しかし、暑いのに水さえも飲めないのは苦しいことでした。

そんなことを取り締まるよりも、スクーターの運転を取り締まってほしいと思いました。

1週間の滞在で、大都会だけに滞在し、それもホテルに泊まって昼はほとんどは大会の会場にいたので、それだけで「台湾という国は」というようなことは到底述べられませんが、日本より親切な人が多いように思いました。食べ物は豊富で無駄（捨てること）も多いように思いました。台湾の人は日本人と同じ顔をして、区別が付きません。以上

風薫る梢過ぎゆく楽の音

第7回 ハーモニカサロンと楽しいハーモニカコンサートを終えて

06.05 関西ハーモニカフレンズ 事務局 大石 喜一郎

平成18年の5月は、梅雨入りを思わせるほど、多雨でした。そんな中で迎えた5月29日(月)は、関西ハーモニカフレンズ(KHF)の第7回定期イベントの日で、無風快晴に恵まれた好条件の下で開催できました。従来の府立文化情報センターは、事業方針の変更(貸し館事業の取りやめ)で使えなくなり、今回からは茨木市立男女共生センター(WAMホール)に移動して開催しました。歴史を誇る茨木神社の杜に隣接したWAMホールは、傾斜フロアに180の固定席を備えた中規模の会場ですが、音響の良さは定評のあるところです。会場を変更したことで、来場者が減ることが心配されましたが、大阪市内はもちろん京都・奈良・神戸・堺からもご来場いただき180席が不足するほどの盛況でした。イベントは①ハーモニカサロン、②飛び入りコンサート、③楽しいハーモニカコンサートといういつも通りの構成でしたが、サロンは”楽典入門5”として【繰り返し】の演習と提示譜面からの演奏時間の推定方法を説明しました。”飛び入り”は、11人(組)の申込があり、高難度レベルの曲が多かったことと伴奏音楽との協演や合奏の登場が、今回の特徴となりました。

③の【楽しいハーモニカコンサート】は33曲の演奏があり、約半数は初めて舞台に出演する人ということでKHFの設立趣旨(演奏機会の提供)に合った演奏会でした。演奏スタイルも伴奏音楽を使用するものあり・ヴォーカルとの協演ありまたハーモニカ独特の無伴奏独奏もありのヴァリエティ豊かなもので、特にヴェテランコンビの特別演奏はその”歯切れの良さ”といい”見事なアーティキュレーション”といい 聞く人誰もが引き込まれるような息のあった素晴らしいものでした。さすがにハーモニカ歴60余年の艶やかな磨きを随所に感じさせる、現役最長老の実力を遺憾なく発揮したものであり ハーモニカを志す人にとってお手本になる立派な演奏で、これも大いに勉強になるものでした。関西ハーモニカ連盟 仲村 理事長の特別出演(前回)とともに KHFコンサートの伝統に永く記憶されるべき Excellent performance でした。

第8回予告 & 出演募集(詳細はKHF事務局へ)

日時 平成18年11月29日(水) 12:30 開場

場所 茨木市立男女共生センターWAMホール

サロンテーマ;リズム(音形)の練習

理事 原田忠雄が

堺市功績者表彰（民生功績）受賞

編集局

近況をお知らせします。私も定年退職後大阪府関係の色々な老人向けの学校や講座を受講し修了後、その系列の各種団体に入会し、日夜奮闘しています。

また得意とするハーモニカでは関西ハーモニカ連盟の理事として、また「ドレミファ会」の代表として現在4教室（堺市立梅文化会館毎週土曜日、他、城山台）生徒70～80名の指導に当たっています。

また、私のハーモニカ演奏や（生徒さんを含めて）設立15年の歴史を持つ「演芸の五目飯、睦会」の支援や大阪府シニアサポートバンクの支援により大阪府下一円の施設や各自治会、団体の催事に出演しハーモニカの人気を広めています。人から人へ施設から施設へと伝わり、今では出演依頼が殺到しうれしい悲鳴を上げています。現在は既に「敬老の日」の前後一週間の予約が殺到しています。

そこで上記のような活動や功績が認められ今回堺市から「民生功績」として表彰を受けることになりました。

今後ともご指導、ご鞭撻、ご声援宜しくお願いいたします。

(2) 第29号

《シニアネット》

関西ハーモニカ連盟 理事
ハーモニカ、ドレミファ会 代表
堺シルバーアドバイザー連協会 会長
ファイブラザ大阪、友の会 会長
大阪府福祉基金、フェスト会 副会長
演芸の五目飯、睦会 副会長

老南南部同窓会
ドレミファ会

原田 忠雄

会の発足は、大阪府老人大学南部講座CBからハーモニカクラブで出会った15期の仲間が“せっかく買ったハーモニカを活用しよう”と集まり、原田さんを中心に結成された。『技術的なものを重視するのではなく、好きな曲が吹ける楽しさを追求しています』と、メンバーのことば。

四季の曲や童謡をはじめ歌謡曲・演歌などレパートリーは幅広く、十八番の“六甲おろし”は全員ノリノリが圧巻。手軽にどこでも吹ける『ポケットオーケストラ』の利点を活かし、老人ホーム等での演奏は好評。



2月6日の梅文化会館会館20周年記念フェアでは、約40人によるハーモニカ合奏が始まるや“故郷”、“冬景色”や“早春賦”といった旋律にのせ、客席から沸き上がったハミングがたちまち会場をひとつにした。（泉北コミュニティーより）

平成18年前半の活動報告

'06.08 大石 喜一郎

残暑厳しい日が続いておりますが、諸兄にはご壮健のこととお慶び申し上げます。平成18年も半年を過ぎたところで、各教室が今年前半に行った主な活動と今後の予定を報告致します。昨年12/5に心臓発作で緊急入院や手術等を受け、更に5/9に追加的検査入院と手術を受けるなど、教室運営に多大な変更を生じて皆様にご迷惑をおかけしました。皆様の温かい御理解とご支援で順調に回復して居ります。ありがとうございました。

月日	会場	イベント タイトル
2/5	茨木・WAM	WAMまつり(ハーモニカローズ)
2/28	茨木・宮川クリニック	訪問演奏会(OIMOの会)
3/3	茨木・WAM	市民体験講座(ハーモニカローズ)
3/18	三田・市民会館	高齢者大学卒業発表会(ハーモニカクラブ)
3/19	堺・市民会館	堺地区市民文化祭で演奏(南風ハーモニカ)
3/29	島根県・隠岐の島	各地で訪問演奏会(特編有志)
4/15	茨木・安威公民館	あすか開設3周年記念演奏(あすか)
4/23	東京・ホテル聚楽全連・日本ハモニカ賞	全日本ハーモニカ連盟より第28回日本ハーモニカ賞を授与されました
4/25	箕面・新響楽器	ハーモニカコンサート(新規開設のためのデモ演奏)
4/29	茨木・中央公園	みんな集まれボランティア(茨木ハモニカファミリー)
5/29	茨木・WAM	第7回 KHF ハーモニカサロン & 楽しいハーモニカコンサート
5/29	茨木・WAM	第28回 日本ハーモニカ賞受賞記念 ハーモニカリサイタル(賛助出演多数)
6/5	三田・中央公民館	三田市高齢者大学 ハーモニカクラブ開講
6/11	大阪・ドーンセンター	ハモンド梅田センター Joyful Concert
6/13	箕面・新響楽器	ハーモニカ教室 開講
6/19	茨木・宮川クリニック	訪問演奏会(OIMOの会)
6/30	堺・西老人センター	5センター 合同発表会(南風ハーモニカ)
7/2	茨木・市民会館	日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会 コンサート(茨木ハーモニカファミリー)
7/6	茨木・郡山保育所	たなばたコンサートでハーモニカ演奏
7/7	堺・榎老人会	榎地区いきいきサロンでハーモニカ演奏(南風ハーモニカ)
7/8	茨木・中央保育所	夕涼み会でハーモニカ演奏(有志)
7/9	豊中・千里 A&H	新響楽器たなばたコンサート
定期 訪問	吹田・フレンド吹田	1/16、3/20、5/15、(7/17、9/18、11/20)
	吹田・フレンド山田	2/16、4/20、6/15、(8/?、10/?、12/?)

【今後予定】

8/21	茨木・WAM	茨木市民体験講座
8/26	茨木・WAM	WAM 発表会(ハーモニカローズ)
9/10	堺・新金岡	新金岡いきいきサロン(南風ハーモニカ)
10/15	大阪狭山市・さやかホール	関西ハーモニカ連盟 関西ハーモニカ祭り (茨木ハーモニカファミリー)
10/29	豊中・よみうり文化センター	YBC文化まつり(よみうり文化センター ハーモニカ教室)
10/29	堺・大仙校区	大仙校区文化祭(南風ハーモニカ)
11/7	茨木・文化ホール	教室発表会(茨木ハーモニカファミリー)
11/29	茨木・WAM	第8会 KHF ハーモニカサロン & 楽しい ハーモニカコンサート
12/3	堺・市民会館	堺地区 市民文化祭(南風ハーモニカ)
12/19	茨木・宮川クリニック	訪問演奏会(O I M Oの会)
2/4	茨木・WAM	WAMまつり(ハーモニカローズ)
3/17	三田・市民会館	高齢者大学卒業発表会(ハーモニカクラブ)

大東アンサンブル、改組

吉村 則次

大阪府大東市立公民館で、当連盟理事の林一義を代表者として、1998/12に開始したクロマチック・ハーモニカ教室「大東アンサンブル」は、開設後8年弱を経過しましたが、今年8月末日を持って改組し「法円坂アンサンブル」と「大東アンサンブル」に分割いたしました。クロマチックばかりの珍しいアンサンブルとして、関西ハーモニカ祭りにも参加し、その他地域でも活動してまいり、お陰様で楽しいハーモニカの世界に身を置かせていただいております。今後、双方ともご支援とお付き合いをお願いします。

なお「法円坂アンサンブル」の代表者は当連盟会員である清水勇とし、私は大東アンサンブルの指導者は止めて「法円坂アンサンブル」の指導者として留まることになりました。

練習場は、大阪城公園の南に隣接した大阪市中央区法円坂にある大阪市立中央青年センターとします(このアンサンブルの名称の由来です)。

今回の関西ハーモニカ祭りに出演させていただく「法円坂アンサンブル」は、上記でご説明のとおり旧称大東アンサンブルです。

「法円坂アンサンブル」にご用のあるかたは、私あて(電話及びFAX 072-251-9398)にお願いします。新規にクロマチックが全く初めてのかたを対象とする教室も近く開始する予定であります。

一方「大東アンサンブル」は、従来とは別の方針に基づき、メンバーも入れ替えして、同じ場所で団体を継続するとのことですから、ご用のあるかたは林一義(072-872-3751)までお願いします。

ハーモニカが上達する為の大切なこと(26)

全日本綜合音楽院・院長

F. I. H(世界ハーモニカ連盟)日本支部役員 池田 輝樹

ハーモニカ教則本について(6)

◎ハーモニカの先生～ベース記号入～

編者： 平井善四郎

印刷兼

発行者： 名倉 幸之助 (東京市神田区表猿楽町23番地)

発行所 電話 神田1335番、振替東京29182番

大正15年8月7日印刷、大正15年8月10日発行

定価：参拾五銭

はしがき

目次

- 1、ハーモニカの構造及種類
- 2、ハーモニカの調子及音階
- 3、ハーモニカの吹奏法
- 4、ベースの入れ方
- 5、オクターブ・三度・五度奏法
- 6、ハーモニカの合奏
- 7、取扱上の注意
- 8、楽典

以下はいろいろな曲がいろいろな分野に分けられて掲載されております。

「国歌の部」

〃君が代〃から〃米国歌〃迄、7曲。

「唱歌の部」

〃蛍の光〃から数え歌変奏曲迄、16曲。

「洋楽の部」

〃ロング・ロング・ア・ゴー〃から〃森の鍛冶屋〃迄、9曲。

「舞曲の部」

〃コチロン〃からキャラバン迄、8曲

「行進曲の部」

〃マーチ〃 I から〃鞭と拍車〃迄、10曲。

「歌劇の部」

〃カルメン〃から〃自由射手〃迄、6曲

「支那曲の部」

〃太湖船〃から〃明清楽〃迄、4曲。

「和曲の部」

〃春雨〃から〃元禄花見踊り〃迄、7曲

「雑曲の部」

〃ラッパ節〃から〃鈴蘭の唄〃迄、14曲

ヨコ約10.6cm、タテ約14.8cm位の小型の本ですが、当時としては良く書かれた本だと思えます。

まず、はしがきには、ハーモニカ音楽が最近数年間にすごく発達をし、新進の諸名手や合奏団が続出して驚異に値するものと言うことや、盛んになった原因は春柳（振作）、川口（章吾）、宮田（東峰）他諸先生方の献身的な努力にもよることでしょうが、ハーモニカと言うそのものが、大衆楽器として一般の愛好を受ける性質を備えているからではなかったでしょうか。と言うこと。又、愛すべきハーモニカを選んだ皆さんは賢明ですが、やさしい楽器でも自己流は全然上達の見込みがありません。良い先生に正式に習うべきです。然しレコードより他に演奏を聞く機会もない土地に住む多くの同好者の為にこの本が生まれ出たのです。と言うこと等が書かれております。

1、ハーモニカの構造及種類のところでは、発音の仕組みや、種類として複音や単音や重音やクロマチック、等があり、大小や穴の数等、いろいろあることが示されております。

2、ハーモニカの調子及び音階のところでは短調のことは書かれておりませんが、12種類の調子があることは述べられております。又、川口式複音23穴や24穴のことも書かれております。

3、ハーモニカの吹奏法

持ち方や姿勢等の基本的なことや、又、聞き覚えは一切捨てて必ず楽譜を正確に読むことそして何よりもタイム（速さ）に充分気を付けなければいけません。

4、ベースの入れ方

ベースの入れ方について書かれております。この本は下側に○で示されております。なお、音符の上側の○は吹く音で、一は吸う記号になっております。

5、オクターブ・三度・五度奏法

それぞれの奏し方を、説明してあります。

6、ハーモニカの合奏

第1、第2、バリトン、バス、ダブルバス、等について述べられ、タイムの正確さの大切なことが書かれております。

7、取扱上の注意

手入れ法等が書かれております。

8、楽典

楽典の各種の説明等が書かれております。符点音符や変化記号や拍子について等が述べられております。又、諸記号である強弱のいろいろやいろいろな速度記号やくりかえしのいろいろな記号等々が示されております。

全体的には大正15年当時としては良く書かれた本だと思います。

なお、編者の平井善四郎さんと言う人はどのような方か判りません。昭和5年版の音楽年鑑（1930年、発行所〃交蘭社〃昭和4年9月11日発行）によりますと、ハーモニカ吹奏家。府下荏原町戸越115、と書かれております。なお、この昭和5年の音楽年鑑に出ているハーモニカ関係人は次の方々です。

春柳振作。豊田義一。貝谷昌夫。川口章吾。大塚潤一郎。岡本潔。信谷直巳。真野市太郎。松原千加士。松本伸。佐藤時太郎。佐藤秀廊。宮田東峰。平井善四郎。等です。

現在にくらべてずいぶんたくさんの方達が音楽年鑑に掲載されており、私達はこれ等の方々の名前を記憶しておくことも大切なことだと思います。ハーモニカの発達過程の歴史の流れとして過去があって現在があるのですから。

なお、平井善四郎さんは、昭和4年6月1日発行のハーモニカ・ニュース（全日本ハーモニカ連盟本部発行）の中にLittle Goldfish（小さな金魚）と言うハーモニカ独奏の楽譜を編曲して掲載しております。ご参考迄に写真と楽譜を示しておきます。（別頁）

Little Goldfish

Harmonica Solo

com. C. Heins
arr. J. Hirai

[A]

Allegro.

Mazurka.

$\frac{3}{4}$ f 6̣5̣4̣2̣7̣5̣ | 6̣5̣4̣2̣7̣6̣ | 5̣0̣7̣7̣6̣ | 5̣ - :|| 5̣ 6̣ 7̣ |

1̣7̣6̣ | 5̣6̣7̣ | 1̣0̣7̣ - | 7̣1̣2̣ | 3̣2̣ | 7̣6̣5̣ | 6̣0̣5̣ - |

5̣6̣7̣ | 1̣7̣ | 2̣1̣2̣ | 3̣0̣2̣ - | 4̣6̣4̣2̣ 2̣4̣2̣7̣7̣2̣7̣5̣ |

3̣5̣3̣ | 1̣3̣ | 3̣5̣ | 6̣5̣4̣3̣2̣ | 7̣6̣5̣4̣3̣2̣ | 1̣0̣ | 1̣0̣ | 5̣6̣7̣ | 2̣ |

1̣2̣3̣4̣5̣ | 4̣6̣4̣2̣ 2̣4̣2̣7̣7̣2̣7̣5̣ | 3̣5̣3̣ | 1̣3̣ | 3̣5̣ | 5̣6̣7̣ | 2̣ |

1̣2̣3̣4̣5̣ | 3̣ | 1̣0̣ | 3̣0̣ | 5̣0̣ | 5̣0̣ | 5̣6̣7̣ | 2̣ | 1̣2̣3̣4̣5̣ |

4̣6̣4̣2̣ 2̣4̣2̣7̣7̣2̣7̣5̣ | 3̣5̣3̣ | 1̣3̣ | 3̣5̣ | 5̣6̣7̣ | 2̣ | 1̣2̣3̣4̣5̣ |

2̣3̣4̣5̣ | 6̣0̣7̣0̣ | 1̣0̣ | 1̣0̣ | 5̣5̣4̣5̣3̣5̣ | 2̣5̣ | 5̣2̣5̣ | 5̣5̣3̣5̣2̣5̣ |

1̣5̣7̣5̣1̣5̣ | 5̣5̣5̣5̣6̣5̣ | 6̣5̣7̣5̣2̣5̣ | 1̣5̣3̣5̣2̣5̣ | 1̣5̣7̣5̣6̣5̣ | 5̣5̣4̣5̣3̣5̣ |

2̣5̣ | 1̣5̣2̣5̣ | 5̣5̣3̣5̣2̣5̣ | 1̣5̣7̣5̣1̣5̣ | 1̣ | 1̣ | 1̣ | 1̣ | 1̣ | 1̣ | 7̣6̣4̣2̣ 7̣6̣4̣2̣ 6̣5̣4̣2̣ |

1̣0̣ | 1̣0̣ | 1̣3̣ | 7̣ - 7̣3̣ | 6̣ - 6̣1̣ | 5̣0̣ | 1̣0̣ | 1̣0̣ | 7̣ - 2̣4̣ |

1̣ - 1̣4̣ | 7̣ - 7̣2̣ | 5̣7̣2̣5̣7̣6̣ | 5̣ - 1̣3̣ | 7̣ - 7̣3̣ |

6̣ - 6̣1̣ | 5̣0̣3̣3̣0̣3̣0̣ | 2̣ : 6̣5̣6̣ | 1̣ : 6̣5̣6̣ | 1̣ : 5̣4̣5̣ |

5̣6̣7̣0̣5̣0̣ | 1̣0̣ | 1̣0̣ | 5̣6̣7̣ | 1̣7̣6̣ | 5̣6̣7̣ | 1̣0̣7̣ - |

7̣1̣2̣ | 3̣2̣ | 7̣6̣5̣ | 6̣0̣5̣ - | 5̣6̣7̣ | 1̣7̣ | 1̣ |

2̣ | 2̣ | 3̣0̣2̣ - | 4̣6̣4̣2̣ 2̣4̣2̣7̣7̣2̣7̣5̣ | 3̣5̣3̣ | 1̣3̣ | 3̣5̣ |

6̣5̣4̣3̣2̣ | 7̣6̣5̣4̣3̣2̣ | 1̣0̣ | 0̣7̣ | 1̣0̣7̣ | 1̣0̣ | 3̣0̣0̣ | 1̣ - |

「小さい金魚」に就て

平井善四郎

曲名に相應しい可憐な感じのマズルカで、ハローモニカ曲としても相當に効果を擧げ得る様に思ひますから、アレンジして見ました。

マズルカは御承知の通りガーランドの舞踏曲で、活氣の有る跳躍的なりづむを持つものです。拍子は高低四分の三拍子、時には八分の三拍子もあり、兎に角三拍子のものです。アクセントの所在が普通の三拍子と異り、第一拍と第三拍に有りますので、一種の異つた獨特のリズムを有するのです。ハローモニカ曲としても、スメリック、カザリン、カザリン其の他マズルカ曲は比較的多く吹奏されて居ますから其の曲風は大凡そ御存じでせう。

最初のアレグロは少し速過ぎる位に奏して、*マニエ*でぐんと落附くと非常に宜いと思ひます。四小節の前奏が済んでマズルカテンポになつてからの十二小節は各音をはつきり切つて、メソスタカツト位に奏して下さい。以下の同じメロディも皆同じ様に奏すのです。それからベース記號に小さいのを使つてあります。これは本誌の記事で御承知の事と思ひます。所謂サードベースですからメロディの三度下の音一音だけをベースとして押入るので、普通のベースはメロディの一オクターブ下の音迄入れて下さい。(8)……の箇所はオクターブで奏すべき處です。

可成りの技巧を要しますから初歩の方には少々無理でせうが、上手に奏せば却々面白く聴けて演奏効果も多いものと信じます。表現に注意して充分練習して下さい。



製複許不

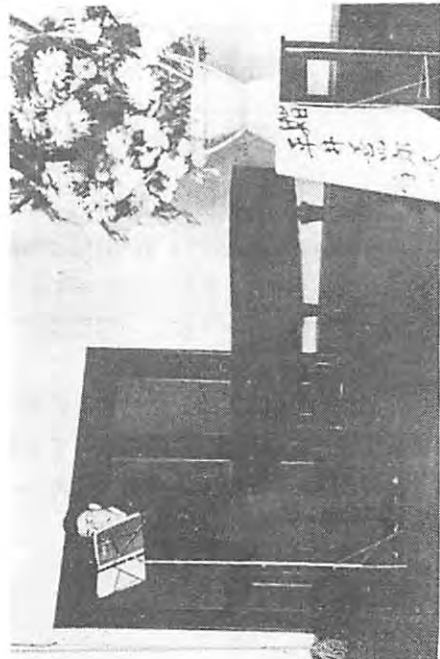
大正十五年八月七日印刷
大正十五年八月十日發行

(定價金參拾五錢)

編者 平井善四郎

印刷者 東京市神田區表猿樂町廿三番地
發行所 名倉幸之助

電話 神四一三三五番
振替 東京二九一八二番



影 撮 念 記 會 義 獨 氏 四 四 善 善 井 平
 ステージの上の上に立つたのが平井善四郎氏であります。見事な演奏振りな
 紹介致します。本誌に氏の經曲樂譜を發表されました。

新しいカラオケCD

吉村 則次

◎ひとりで弾けるピアノ協奏曲、カラオケCDでオーケストラとの共演を体感!

リットー・ミュージック 模範演奏とカラオケの2枚のCD付き 2000円 安い!
10本の指で和音も奏でるピアノ用の曲を1個の音しか出せないハーモニカで演奏できる
のでしょうか。意外にできるのです。不自然さは感じられないカラオケもあります。

それは、レベルが低いピアニストでも弾けるように、右手のメロディ部分のみを抜いてあって、左手部分はオーケストラでカラオケに入っていたりするからです。

このカラオケ集には、千住明作曲のピアノ協奏曲「宿命」第1・2楽章のような大曲もあり、これらはハーモニカではちょっと無理かと考えられますが、久石譲のサマー、エンジェル・スプリングス、シネマ・ノスタルジア等映画やテレビ番組の曲を始め、ニュー・シネマ・パラダイス(エンニオ・モリコーネ)、メリー・クリスマス・ミスター・ローレンス(坂本龍一)、パリは燃えているか(加古隆)も入っている。

特に最後の「パリは燃えているか」はNHKテレビの「映像の世紀」のテーマ曲で、世紀の変わり目によく放映されていた、20世紀を振り返る番組で、私もぜひやりたいと思っていた曲であり、このカラオケが手に入ったことが非常にうれしい。いつか人前で演奏することと思う。

◎渡る世間は鬼ばかり

この名前の橋田寿賀子ドラマが再び始まっている。TBS系毎週木曜日
そのテーマ曲も軽快で、私が好きなものですが、このカラオケは、すでに本誌で紹介済みのヤマハの「カラオケCDつきテレビテーマ」2500円に含まれている。まだ店頭にある。この本の中にある、シルクロード、黄昏のワルツ、遠くへ行きたい、北の国から、等を私の教室で教材として使わせていただいた。お薦めのカラオケCDである。テレビのテーマ曲は聴衆の年齢にかかわらず確実に「受ける」。

新しいハーモニカCD

吉村 則次

◎徳永 延生 冬のソナタ 3000円

直接販売 徳永 TEL&FAX 06-6934-7266 tokunaga@h.zaq.jp

韓国ドラマから16曲 最初から今まで、マイ・メモリー、あなたの後ろで等
ピアノ、ベースのバックに、一部韓国の歌手のボーカルも入っている。前号48参照

◎Bon X Boa シンプレス 3000円

キングレコード KICC593 tel 03-3945-2123

関東には、数少ないが、このようなすてきな若いグループがいる。

井上初美と大内友哉の二人の演奏である。一部ベースとキーボードの伴奏付き

ハーモニカ二重奏の演奏とカラオケ発売 吉村 則次

二重奏は、二人寄れば簡単に楽しめます。

今回は、私のハーモニカ教室のために、伴奏なしの二重奏の演奏とカラオケ（＝メトロノームとセカンドパートのみを録音。これに合わせてファーストを演奏する）を作成して生徒に渡しております。これを希望者に頒布します。ご利用ください。

楽譜（五線譜）とセットです。送料込み1500円 申し込みは、なるべくFAXで
072-251-9398 吉村則次 へ

代金は、郵便振替口座 00990-6-96827 加入者名 吉村則次 へ
品物受け取り後で結構。収録曲は、次のとおり8曲 約30分

- 1、野いばらに寄す
- 2、野ばら
- 3、荒城の月
- 4、夢路より
- 5、竹田の子守歌
- 6、黒いひとみの
- 7、中国地方の子守歌
- 8、さとうきび畑

591-8008 堺市北区東浅香山町3-104-5-201

吉村 則次

電話及びFAX 072-251-9398

買っておいでよかったポール・モーリア カラオケはすぐ買っておこう

前号p14にて、ポール・モーリアの曲5曲の、私の見本演奏とカラオケのMDと楽譜をご案内しましたが、これが意外にも非常に人気で、すでに20件以上の注文がありました。継続して販売中。中年のかたにはポール・モーリアのメロディは頭に残っているようです。

これを使って、どなたかが人前で演奏してくれているのを見ると（小規模な会場での演奏や、教室の練習では、すでに多く聞かせていただきました）作成者としては非常にうれしい。もっと大きな、関西ハーモニカ祭りのような舞台でも演奏してくれれば、なおさらうれしい。

実は、このカラオケは、8年前の1998年に購入したものであり、1997年にドレミ楽譜出版社から発行されたものであり、もう手に入らない。

そのときは特に強い目的がなくても、買っておいでよかったなと思っています。

このような方針で、私はカラオケCDのついた楽譜を相当買ってあり、私の部屋はそれで埋まっていますが、これは今では私の教室の教材として、あるいは他の希望者への提供（私のところへ〇〇〇〇の譜面はないか、〇〇〇〇のカラオケはないか、とよく問い合わせがあります。）で、大いに役立っております。

楽譜とカラオケはいつか役に立ちます。見たらすぐ買っておきましょう。すぐ絶版となります。

市販のカラオケCD、楽譜と、著作権の関係について、私の考え方

市販のカラオケCDと楽譜は、買って聞くだけではなく、当然それを使って購入者に歌ってもらったり、演奏してもらったりするために作られているものと思います。「発表会等にご利用ください」という表示がついたものも多く見られます。教室での利用も同じと思っています。

我々が入場料無料のコンサート（ボランティア活動も含む）で、私的に使用することはなんら差し支えないと思っております。



高槻ハーモニカクラブ「第8回高槻ジャズストリート」初出演

第8回高槻ジャズストリートが平成18年5月3日、4日、5日の3日間、高槻市内中心街43ヶ所で一斉に開催され722バンド、2514名が出演し、約13万人の観客を動員した。この3日間は全てボランティアの手により運営され、『高槻を音楽溢れる明るく楽しい街にする』という趣旨の元、全国のジャズメンの血潮が手弁当で馳せ参じた。既に8回を数えるこの一地方の素朴なイベントは本年3月大阪府まちづくり功労賞に輝いた。この初夏の熱い音楽イベントに丁度設立10周年を迎えた我が「高槻ハーモニカクラブ（織田太郎、岡村貞彦率いる23名）」が初出演。

5月3日 20:00～45分間、りあさ会場に約40名の観衆を迎えソログループが熱演、5月4日 14:00～45分間、高槻生涯学習センター1階ロビーにて約200人の観衆を前に全員でハーモニカ合奏を披露した。他の吹奏楽器、エレキギター等の多い中、ハーモニカ特有の清新で懐かしい音色を楽しんでもらえたと思う。特に最後の「長崎の鐘」では演奏者と聴衆の心が融和し、思わず歌声が沸き起こり「複音ハーモニカこゝに在り」を高らかに示した。又、ソログループの演奏の最後には出演者全員で「六甲おろし」を観客の手拍子と共に成功裏に終了した。

<演奏曲目>

冬の星座 花言葉の唄 緑のそよ風 ラモーナ 手のひらに太陽を
 小さな喫茶店 花の街 虹の彼方 私の青空 一杯のコーヒーから
 サムサンディモーニング 青春のパラダイス バリ野郎 長崎の鐘
 夜のタンゴ 山寺の和尚 アビニオンの橋の上で ラストダンスは私と
 国境の南 森の小径 帰れソレントへ 汽車の旅 荒城の月
 森の水車 コーコランカデッツ 六甲おろし



高槻ハーモニカクラブは平成7年5月、阪神大震災の直後3名で結成し、市内磐手公民館を本拠に徐々に会員が増え10年を経た現在20名を越え、地元の福祉施設、小学校、幼稚園、保育所等への訪問演奏、関西ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会等主催のコンサート出演等活発な地域活動を展開しております。とりわけ山手老人福祉センターへは7年間隔月で訪問演奏を実施しました。

レパトリーは多岐にわたり、タンゴ、シャンソン、スタンダードジャズや懐かしのメロディー等を手掛けています。

♪ やっぱりハーモニカはいいなあ～ ♪

高槻ハーモニカクラブ 代表 井上 純一 平成 18.5.21.

ご要望にお応えして「第二弾発売」

ソロとアンサンブルのたのしみ

ハーモニカ 思い出の歌謡曲集～昭和編Ⅱ

編曲集

全音楽譜出版社より発売 ￥2,100円＋税

第一集に続き、昭和を代表する歌手の代表曲を年代順に集めてみました。

全曲「独奏譜」と「アンサンブル譜」を掲載しました。演奏中にページめくりをしなくてよいよう、全曲を見開きにしました。

初心者でも演奏できる易しい曲も加え、できるだけ一般的なハーモニカで演奏できるようにしました。

曲目 【編曲・演奏 宇佐美 進】



アンサンブルCD
独奏 CD

ダイヤモンド音楽出版より発売
各￥2,100円(税込み)



- 支那の夜
- 誰か故郷を想わざる
- 長崎の鐘
- 山の煙
- 別れの一本杉
- 柿の木坂の家
- 古城
- お別れ公衆電話
- 潮来花嫁さん
- 北上夜曲
- いつでも夢を
- 下町の太陽
- あゝ上野駅
- 函館の女
- この広い野原いっぱい
- 恋の季節
- 恋のしづく
- 知床旅情
- 瀬戸の花嫁
- 千曲川
- 昔の名前で出ています
- 大阪ラブソディー
- リバーサイドホテル
- 兄弟船
- 野に咲く花のように

第一集「編曲集」「アンサンブルCD」も好評発売中

- 裏町人生 ●旅の夜風 ●蘇州夜曲 ●湯島の白梅 ●かえり船 ●悲しき口笛 ●祝い酒
- 白い花の咲く頃 ●赤いランプの終列車 ●津軽のふるさと ●落葉しぐれ ●岸壁の母
- おんな船頭唄 ●ここに幸あり ●潮来笠 ●赤いハンカチ ●高校三年生 ●涙の連絡船
- 他人船 ●北国の春 ●大阪しぐれ ●さざんかの宿 ●長良川鮎歌 ●人生いろいろ

演奏：宇佐美 進
全パート一人演奏
録音：デジタルステレオ多重録音

〒799-1372 愛媛県西条市吉田 362 番地
宇佐美 進

電話・FAX 0898-76-2119

Eメール h-s.usami@nifty.com

Hページ <http://homepage3.nifty.com/usami/>

ご注文はこちらへ →

クロマチックハーモニカ

生徒募集

全く初めてののかたのための教室

吉村 則次

このたび、「法円坂ハーモニカアンサンブル」を新設いたしました。

同アンサンブルでは、クロマチック・ハーモニカが全く初めての方のために、次のとおり教室を開始いたします。練習場所も大阪の中心であり、時間も平日の夕方と、なにかと便利と思います。興味のある方は奮ってお出で下さい。

○練習時間 毎月2回 第1・3金曜日 午後6時から1時間

午後7時からは経験者のアンサンブルクラスがあります。ある程度できるようになりましたらこれに参加できます。GとFの曲が五線譜を見て演奏できる方は、すぐにでも歓迎です。

○受講料 月3,000円 教材(楽譜本、録音物等)別

○募集人員 10名以内 少人数制です。

○申込方法 講師 吉村則次(電話およびFAX 072-251-9398) または
事務担当 山本恭子(0774-63-6166)へ

○教室の場所 大阪市立中央青年センター(大阪市教育委員会)の中の研修室等
540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35
JR森ノ宮駅から西へ歩10分、地下鉄谷町四丁目駅10番出口から東へ歩8分

○講師 吉村則次(2001年国際コンクール(ドイツ)第3位、多くの教室の講師を担当)

○開始年月日 2006年10月6日(金)午後6時 B棟第3研修室

○その他

使用するハーモニカは、12穴14穴16穴スライド式クロマチック・ハーモニカとします。クロマチック・ハーモニカの斡旋あります。

楽譜は、数字譜ではなく、一般に売られている五線譜を使用します。みんなが知っている日本の童謡叙情歌から始めて、先にポピュラーの曲、クラシックの曲等に移ります。



インスブルック国際音楽祭（一部前号の追加版に掲載）

アコーディオンとハーモニカの

吉村 則次

上記の音楽祭が、オーストリアのインスブルックで2007年5/17~20に開催されます。

この大会の詳細については、前回参加した私が2004/10月号会報に書いておりますのでご覧いただきたいと思いますが、3年毎に開かれるアコーディオンとハーモニカの世界大会です。前は2004/6/10~11の2日間でしたが、今回は5月の4日間。

前は森本恵夫さん、東京の真田正二さん、同じく篠藤さん夫妻の5人で行き、大会前後はザルツブルグ、ザルツカンマーグート、チェコのチェスキー・クルムロフ、ウィーンと回りました。

ハーモニカのコンテストは、ソロ・クロマチック（大人、青少年）、グループ（大人、青少年）、オーケストラ、オープン（年齢制限なし）、スクール・オーケストラ（ハーモニカ以外の楽器が入ってもいい）の5カテゴリーで、複音やテンホルズの出番は残念ながらありません。MD伴奏等の設備もなく、したがって、コンテストには非常に参加しにくいものです。

でもアコーディオンに関してはすごいもので、100万円から400万円クラスのものを持った若者が街を歩いており、会場もカテゴリー別にあちこちにあり、アコーディオンに関心のない人にとってもわくわくするものです。

音楽祭そのものはハーモニカにとっては、たいしたものではありませんが、開催地であるインスブルック、近郊のザルツブルグ、ザルツカンマーグート、必ず立ち寄るウィーン（空港があり、大阪からオーストリア航空の直行便がある）等は何回でも行ってもいいようなところです。ザルツブルグとウィーンは、モーツアルトを始め、音楽音楽音楽の世界です。私にとっては、もう1回行ってみたいところです。

インスブルックは2000メートル級の山に南北両側から囲まれていて、6月というのに雪がかぶっていて……その2000メートル級のものにケーブルカーで簡単に登れる……というものです。

申し込みの締め切りは本年の12月11日ですが、そのころになると私も「また行ってみようか」という気持ちになるのかも知れません。

和谷泰扶さんのところには、参加要請が来ているそうで、行かれると思いますので、自分も行ってみようかというかたは、和谷泰扶さんにも問い合わせてください。

研修会の報告

研修部 寺村 安雄

7月9日（日）愛日会館（大阪市本町）に於いて、PAに関する研修会（講師吉村則次氏）に、ご遠方より参加していただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

アンケートの結果から

参加者 28名（内スタッフ4名）

アンケート回収 24名、一般愛好者 7名

連盟会員12名、役員5名

今回は音響機器に関する専門的な研修会だけに、講師の方から参加者一人一人に、PAに関してそれぞれ疑問や関心のある項目を聞き出して、それに基づいて効率よく講義を進行されたのは、参加者に広く理解されました。

アンケート結果からも多数好評だったので、前回に比較して参加者が減少したのは惜しまれてなりません。

今回の第6回アジア太平洋ハーモニカ大会のコンテストの「複音の部」の課題曲です。
 クロマチックの部にも課題曲がありました。ピアノ伴奏付きで7ページにわたるので掲載
 できません。ご希望のかたは編集局長吉村則次電話及びFAX 072-251-9398まで

絮語・Tango

SGBM 盧 作曲

$\frac{4}{4}$ ♩ = 72

mp C H.C. →

3 2 || 3 - - 3 7 | 6 - 4 3. | 2 2 2 2 2 5 4 |

4

3 2 2 - 6 5 | 5 - - 6 4 3 | 5 - 5 3 3 4 | 5 5 5 - 6 7 |

8

1. 1 1. 1 2 3 | 4 - - - | 3. 6 6 5 5 | 2 1 1 1 7 1 2 |

12

3 3 3 - 3 2 | 1 - 1 0 3 2 || 3 - - 3 7 | 6 - 4 3. |

16

2 2 2 2 2 5 4 | 3 2 2 - 6 5 | 5 - - 6 4 3 | 5 - 5 3 3 4 |

20

5 5 5 - 6 7 | 1. 1 1. 1 2 3 | 4 - - - | 3. 6 6 5 5 |

24

24 25 26 27

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

28

28 29 30 31

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

32

32 33 34 35

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

Tango *mp* 3. 123

36

36 37 38 39

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

40

40 41 42 43

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

44

44 45 46 47

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

♩ = 112~120

48

3 6 7 1 2 7 1 6 | 7. 3 3 3 3 3 3 || 4 3 2 3 4 3 2 3 4 0 2 | 3 2 1 2 3 2 1 2 3 0 1 |

52

2 1 7 1 2 1 7 1 2 2 1 2 1 7 | 6 1 5 6 7 1 7 1 2 3 1 2 3 4 5 6 7 1 3 | 4 3 2 3 4 3 2 3 4 6 5 4 |

55

3 2 1 2 3 2 1 2 3 3 3 6 1 | 2 1 7 1 2 1 7 1 2 2 2 1 2 1 7 | 6 3 6 1 5 6 |

58

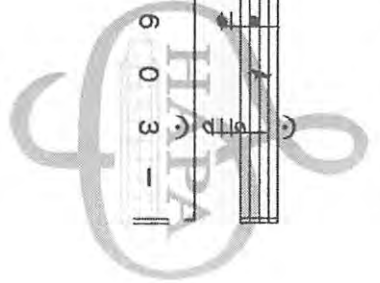
3 6 1 5 6 4 6 5 6 4 6 5 6 2 6 5 6 | 2 6 1 5 6 4 6 5 6 4 6 5 6 2 6 5 6 |

60

1 7 1 2 3 1 2 3 1 5 6 5 6 7 1 7 1 2 | 3 1 6 3 1 6 3 1 6 3 1 6 3 1 6 3 | 4 3 1 2 3 7 3 2 3 3 1 2 7 1 6 7 1 5 |

62

7 1 5 6 3 6 3 4 2 3 1 2 7 1 6 7 1 5 | 6 0 4 3 2 0 1 7 | 6 0 3 |



病気に勝てなかったハーモニカコンテスト

(四方ハモ話 7)

光野 利一郎

私事で恐縮ですが、7月31日の西日本ハーモニカコンテストへの出場を目前にしたある日、突然身体に異変を来し、病院行き、安静にしていなければならなくなり、残念ながらコンテストへの不出場を余儀なくされた。

自分の演奏能力は別にして、2年間出場を目指し頑張ってきた。十数年前に一度入院し、退院後も精神的に立ち直れず、数年間ハーモニカをやめていた時期があったので、今回も一抹の寂しさと空虚感を味わった。

しかし、世の中に生老病死が有る以上、どんなに偉大で高潔な方でも、いつかはこの世から旅立って行かねばならないのが定め。それを思えば虚しいなどと言ってはおれない！ハーモニカの世界でも、過去に輝かしい軌跡を残され大先達と尊敬された諸先生、先輩方がおられました。その卓越した音楽的素養と演奏技術は自分には到底及ばない世界、そんな才能を持ちながらも、この世から離れて逝かれたのはあまりにも惜しい！勿体ない！

素養才能があったにしても、先達方の鍛練努力は人並み外れたものであったろう事は間違いないと思う。先達方が持って逝かれた才能は惜しいが、今、我々がこうしてハーモニカ演奏を楽しんでいるのも、諸先輩方から直接間接に教えられ影響を受けたお陰様と、大いに感謝している次第です。

それが分かれば病氣したからと言って、いつまでも落ち込んではおられない！人間死ぬまで勉強の精神で、これからもハーモニカを吹き続け、二年後を目指して頑張りたいと思う今日この頃である。

子供の頃ワクワクした大道芸に会いたくて 朝日賞・小沢さん講演

05年度朝日賞受賞を記念した、俳優小沢昭一さん(77)の講演会は、大道芸への思いを、ユーモアあふれる体験談や絶妙のパフォーマンスで語り尽くすものだった(23日、東京・有楽町朝日ホール)。



講演を得意のハーモニカ演奏で締めくくった小沢昭一さん(23日、東京・有楽町で、御堂義乗氏撮影)

俳優としての業績のほか、日本の大道芸、放浪芸を長年にわたって研究し再評価したというのが小沢さんの授賞理由だ。講演で小沢さんはまず、大道芸にのめり込んだ理由を「若い頃仕事をし過ぎまして、3本立ての映画と予告編3本の全部に出ているなんて働き方をして体を壊しました。その入院中に、一から出直そう、地べたの芸能を研究して、芸能人としてゼロからやり直そうと思つたと申し上げてきました。ウソではありません」と切り出した。

「昭和の初めにはまだ道の芸能、地べたの芸能がたくさん残っていて、子供の私をワクワクさせた。私の黄金時代でありました。あの頃の芸能にまた会いたい、というのが本々の理由です」

小沢さんは子供の頃聞き覚えなかった物売りの売り声や口上の実演を交えて、仏教の「節説教」「芸風説教」から浪花節、講談、落語に至る芸能の歴史を紹介。また尾張万歳に弟子入りして関東各地の住宅街を門付けして回った際の苦い体験談などを通して、大道の芸を「江戸時代以来の社会の枠組みから外れた貧しい人々が、生きるためにやらざるを得なかった芸能」と位置づけた。

さらに、最近固有名詞をど忘れする、せりふが出てこないという俳優としての危機感を告白した後で、都心の駅で取り締まりを縫ってハーモニカ演奏で稼ぐ芸人を見た話を紹介し、「私も幸いにしてハーモニカが吹けます。いよいよ俳優としてお払い箱になったらハーモニカ芸人として何とか暮らしていこうと思えます。ハーモニカを取り出して巧みに「旅の夜風」を演奏。取り締まりの職員を見つけて逃げ出す大道芸人のフリをして舞台袖に逃げ込み、2時間近い講演を終えた。

(編集委員・篠崎弘)



事務局からのお知らせ

平成18年8月

日本ハーモニカ芸術協会 (JHAA)

事務局 田邊峯光

TEL/FAX 042-371-8840

□ 全国研修会及びグレード認定式

日時 平成18年10月15日(日) 13:00~15:00

場所 銀座ヤマハホール

講師 岩崎重昭 理事長

「複音ハーモニカの演奏法と指導法 そのII」

* 入場の際に会員証を提示して下さい。

□ 秋のハーモニカ祭り (第58回定期演奏会)

“ ハーモニカ・デュオ 今が旬 ”

日時 平成18年10月15日(日) 15:30 開場 16:00 開演

場所 銀座ヤマハホール

* このところ1ヶ月前までにチケットが売り切れますのでお早めにお申込下さい。

□ クロマティック・グレード認定試験

第1回 グレード中級 試験

☆ 受験資格 クロマティック・グレード試験 初級合格者

☆ 受付期間 平成18年9月1日~9月30日

☆ 受験日 平成18年11月26日(日)

第4回 グレード初級 試験

☆ 受付期間 平成18年11月1日~11月30日

☆ 応募要領 「クロマティックハーモニカ名曲集 入門編」

より課題曲及び自由曲の2曲によるテープ審査

* 詳細は事務局までお問合せ下さい。

会員異動のお知らせ('06/10月号)

2006/8/17 現在
組織部長

個人情報保護のお知らせ

当連盟では名簿を公開しておりますが、本人の申し出があれば個人情報(町名・地番・電話番号等)を非公開にできることが、2004/07/12の常任理事会により決議されました。
会報第168号(2006年7月号)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。

再入会

	氏名	〒	住所		電話番号	受付日
1	絹本 雅祥	674-0061	明石市大久保町森田	114	078-934-0296	'06/06/10

新入会

	氏名	〒	住所		電話番号	受付日
1	西尾 幸介	780-8063	高知県高知市朝倉丙	1172-6	088-844-6480	'06/07/02
2	人見美千子	639-0252	奈良県香芝市穴虫	1597-3	0745-78-2212	'06/07/07
3	大倉 妙子	564-0063	吹田市江坂町	2-3-16-401	06-6338-2774	'06/07/18
4	澤田 敏晴	648-0073	和歌山県橋本市市脇	4-4-19-201	0736-33-3914	'06/07/28
5	吉澤 妙子	664-0023	伊丹市中野西	2-155	072-779-7738	'06/08/01
6	森井 俊治	630-0114	奈良県生駒市鹿ノ台西	3-6-8	0743-78-6845	'06/08/16
7	福田ミツ子	574-0011	大東市北条	4-5-406	072-878-4616	'06/08/17

訂正	訂正〒	訂正住所等	訂正番地等	訂正電話番号	受付日
1	永野 富康	515-2602	三重県津市白山町二本木	3736-26	'06/06/19
2	新井 尚子	600-8326	京都市下京区西松屋町	西洞院東入る563	'06/06/29
3	新井 善久	600-8326	京都市下京区西松屋町	西洞院東入る563	'06/06/29

現在の会員数は 277 名です。

お願い;住所・住居表示・電話番号・市外局番等 名簿記載事項の変更は組織部へおしらせ下さい。

岡直弥氏、よみうりテレビに出演

吉村 則次

大阪府四條畷市の岡直弥氏(11歳、非会員)が最近忙しい。5/28、6/4、8/13の3回にわたり、よみうりテレビ日曜日午前10:55からの「スタびか」に「スゴイキッズ」として出演、演奏した。写真参照。すばらしい才能を持った子供を毎回発掘して紹介する番組である。

同氏は、小学校6年生で、徳永延生教室及び法円坂教室(吉村則次指導)の生徒であり、クロマチック・ハーモニカを始めてから3年目。最近テレビへの出演ほか、あちこちからよく呼びがかかっている。

「スタびか」の時間帯にはCh4の「サンディ・ジャボン」を見ておられるかたが多いと思うので、この番組は見逃しているかたが多いと思う。ビデオ(本人が出演している部分のみ)を見たいかたは、吉村則次(電話及びFAX 072-251-9398)まで。

なお、10/15のさやかホールでの関西ハーモニカ祭り、11/5の堺総合福祉会館での南大阪ハーモニカ祭りにも出演されるので、どうぞご期待ください。



H R O I A
A M N C

関西ハーモニカ連盟